

#### 4 財政指標の現状及び推移

ここまで財政収支上の各項目について現状と推移をみてきたが、財政状況をよりの確に把握するためには、各項目の動きを総合的に捉える必要がある。例えば、給付費の動きは、保険料収入や標準報酬総額の動きと併せてみる必要があるであろう。

年金数理部会では、従来、財政状況把握の一助とするため、制度の成熟度を表す「年金扶養比率」、「総合費用率」、「独自給付費用率」、収支状況を表す「収支比率」、積立状況を表す「積立比率」の5つの財政指標<sup>注</sup>を作成してきた。また、平成14年度から「年金種別費用率」を、平成20年度から「保険料比率」を作成し、分析を行っている。

注 財政指標の定義については、第2章の章末の「《参考1》財政指標の定義及び意味」の項を参照のこと。

##### (1) 年金扶養比率 ー高い私学共済、低い国共済、地共済ー

平成22年度末の年金扶養比率は、私学共済が4.19で最も高く、次いで厚生年金2.39、国共済及び地共済1.53の順となっている。また、国民年金については、分子に第1～3号被保険者数、分母に老齢基礎年金等受給権者数を用いて算出すると2.40である（図表2-4-1）。

年金扶養比率の高い私学共済は、成熟が厚生年金などに比べて進んでいない制度、逆に年金扶養比率の低い国共済、地共済は成熟が進んでいる制度といえる。

一般に年金扶養比率が低いことは、賦課方式の制度にあつては被保険者の負担が大きいことを意味する。

図表2-4-1 年金扶養比率 ー平成22年度末ー

| 区分                | 厚生年金   | 国共済   | 地共済   | 私学共済 | 国民年金   |
|-------------------|--------|-------|-------|------|--------|
|                   | 千人     | 千人    | 千人    | 千人   | 千人     |
| 被保険者数             | 34,411 | 1,055 | 2,878 | 485  | 67,342 |
| 老齢・退年相当の<br>受給権者数 | 14,413 | 691   | 1,882 | 116  | 28,019 |
| 年金扶養比率            | 2.39   | 1.53  | 1.53  | 4.19 | 2.40   |

注1 国民年金については、分子を第1～3号被保険者数、分母を老齢基礎年金等受給権者数として算出した。

注2 保険に係る年金扶養比率は、国共済が1.92、地共済が1.92である。  
なお、保険に係る年金扶養比率とは、制度発足前の恩給公務員期間等を引き継いだことによる影響を除いて保険制度としての年金扶養比率をみるため、年金扶養比率を、支出額から追加費用を控除した額の支出額に対する割合で除した換算値である。

年金扶養比率の推移をみると（図表 2-4-2）、各制度とも一貫して低下しており、特に私学共済、厚生年金で低下幅が大きい。平成 22 年度の対前年度増減差は、私学共済が△0.14 ポイント、厚生年金△0.08 ポイント、地共済△0.07 ポイント、国民年金は△0.05 ポイントと低下しており、国共済は横ばいであった。

図表 2-4-2 年金扶養比率の推移

| 年度末     | 厚生年金   | 国共済    | 地共済    | 私学共済   | 国民年金   |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 平成      |        |        |        |        |        |
| 7       | 4.98   | 1.99   | 2.64   | 8.15   | 4.15   |
| 12      | 3.57   | 1.89   | 2.32   | 5.98   | 3.43   |
| 17      | 2.87   | 1.71   | 1.95   | 5.02   | 2.87   |
| 18      | 2.82   | 1.68   | 1.89   | 4.88   | 2.77   |
| 19      | 2.74   | 1.62   | 1.79   | 4.67   | 2.67   |
| 20      | 2.60   | 1.58   | 1.69   | 4.49   | 2.55   |
| 21      | 2.47   | 1.53   | 1.60   | 4.32   | 2.45   |
| 22      | 2.39   | 1.53   | 1.53   | 4.19   | 2.40   |
| 対前年度増減差 |        |        |        |        |        |
| 17      | △ 0.04 | △ 0.02 | △ 0.06 | △ 0.12 | △ 0.09 |
| 18      | △ 0.05 | △ 0.02 | △ 0.06 | △ 0.14 | △ 0.10 |
| 19      | △ 0.08 | △ 0.06 | △ 0.10 | △ 0.21 | △ 0.10 |
| 20      | △ 0.14 | △ 0.04 | △ 0.10 | △ 0.18 | △ 0.12 |
| 21      | △ 0.13 | △ 0.05 | △ 0.09 | △ 0.17 | △ 0.09 |
| 22      | △ 0.08 | △ 0.00 | △ 0.07 | △ 0.14 | △ 0.05 |

注 国民年金については、分子を第1～3号被保険者数、分母を老齢基礎年金等受給権者数として算出した。

平成 22 年度の年金種別費用率をみると（図表 2-4-3）、厚生年金の老齢費用率、障害費用率、遺族費用率は、それぞれ 11.1%、0.2%、3.0%、国共済は 13.1%、0.1%、2.9%、地共済は 14.0%、0.1%、2.3%、私学共済は 7.7%、0.1%、1.4%となっている。

図表 2-4-3 年金種別費用率 —平成 22 年度—

| 区分         | 厚生年金 | 国共済  | 地共済  | 私学共済 |
|------------|------|------|------|------|
|            | %    | %    | %    | %    |
| 老齢費用率      | 11.1 | 13.1 | 14.0 | 7.7  |
| 障害費用率      | 0.2  | 0.1  | 0.1  | 0.1  |
| 遺族費用率      | 3.0  | 2.9  | 2.3  | 1.4  |
| （参考：総合費用率） | 19.7 | 20.2 | 20.2 | 13.6 |

注 厚生年金は決算ベースであり、厚生年金基金による代行分を含まない。

年金種別費用率の総合費用率に対する構成割合は（図表 2-4-4）、国共済、地共済で老齢費用率の占める割合が大きい。総合費用率は、老齢費用率、障害費用率、遺族費用率、その他（拠出金）の費用率に分解されるため、年金種別費用率の構成割合は、その他の費用率の影響を受けることに留意する必要がある。

また、各制度の年金種別費用率の推移は、図表 2-4-5 のとおりである。

図表 2-4-4 年金種別費用率の総合費用率に対する構成割合 —平成 22 年度—

| 区分    | 厚生年金 | 国共済  | 地共済  | 私学共済 |
|-------|------|------|------|------|
|       | %    | %    | %    | %    |
| 老齢費用率 | 56.3 | 64.8 | 69.3 | 56.7 |
| 障害費用率 | 0.8  | 0.6  | 0.7  | 0.6  |
| 遺族費用率 | 15.4 | 14.3 | 11.2 | 10.1 |

注 厚生年金は決算ベースであり、厚生年金基金による代行分を含まない。

図表 2-4-5 年金種別費用率の推移

| 年度            | 厚生年金   |       |       | 国共済    |       |       |
|---------------|--------|-------|-------|--------|-------|-------|
|               | 老齢費用率  | 障害費用率 | 遺族費用率 | 老齢費用率  | 障害費用率 | 遺族費用率 |
| 平成            | %      | %     | %     | %      | %     | %     |
| 17            | 10.2   | 0.2   | 2.5   | 10.5   | 0.1   | 2.2   |
| 18            | 10.1   | 0.2   | 2.6   | 11.1   | 0.1   | 2.5   |
| 19            | 9.9    | 0.1   | 2.6   | 11.9   | 0.1   | 2.6   |
| 20            | 10.0   | 0.1   | 2.7   | 12.7   | 0.1   | 3.0   |
| 21            | 11.0   | 0.2   | 3.0   | 13.0   | 0.1   | 3.2   |
| 22            | 11.1   | 0.2   | 3.0   | 13.1   | 0.1   | 2.9   |
| (参考)標準報酬月額ベース |        |       |       |        |       |       |
| 17            | <12.2> | <0.2> | <3.0> | <14.0> | <0.1> | <3.0> |
| 18            | <12.1> | <0.2> | <3.1> | <14.9> | <0.2> | <3.3> |
| 19            | <11.9> | <0.2> | <3.1> | <15.9> | <0.2> | <3.5> |
| 20            | <11.9> | <0.2> | <3.2> | <16.9> | <0.2> | <4.0> |
| 21            | <12.9> | <0.2> | <3.5> | <17.2> | <0.2> | <4.2> |
| 22            | <13.1> | <0.2> | <3.6> | <17.1> | <0.2> | <3.8> |
| 年度            | 地共済    |       |       | 私学共済   |       |       |
|               | 老齢費用率  | 障害費用率 | 遺族費用率 | 老齢費用率  | 障害費用率 | 遺族費用率 |
| 平成            | %      | %     | %     | %      | %     | %     |
| 17            | 10.4   | 0.1   | 1.8   | 6.7    | 0.1   | 1.2   |
| 18            | 11.0   | 0.1   | 2.0   | 6.9    | 0.1   | 1.2   |
| 19            | 11.5   | 0.1   | 2.1   | 7.1    | 0.1   | 1.2   |
| 20            | 12.5   | 0.1   | 2.4   | 7.2    | 0.1   | 1.3   |
| 21            | 13.6   | 0.1   | 2.5   | 7.4    | 0.1   | 1.3   |
| 22            | 14.0   | 0.1   | 2.3   | 7.7    | 0.1   | 1.4   |
| (参考)標準報酬月額ベース |        |       |       |        |       |       |
| 17            | <13.9> | <0.1> | <2.4> | <8.9>  | <0.1> | <1.6> |
| 18            | <14.6> | <0.2> | <2.6> | <9.2>  | <0.1> | <1.6> |
| 19            | <15.4> | <0.2> | <2.8> | <9.3>  | <0.1> | <1.6> |
| 20            | <16.8> | <0.2> | <3.2> | <9.4>  | <0.1> | <1.7> |
| 21            | <17.8> | <0.2> | <3.3> | <9.7>  | <0.1> | <1.8> |
| 22            | <18.1> | <0.2> | <2.9> | <10.0> | <0.1> | <1.8> |

注1 「総報酬ベース」の数値である。また、<>内は「標準報酬月額ベース」の数値である。

注2 厚生年金は決算ベースであり、厚生年金基金による代行分を含まない。

## (2) 総合費用率

平成 22 年度の総合費用率は、国共済、地共済がともに 20.2%で最も高く、次いで厚生年金 19.7%、私学共済 13.6%の順となっている（図表 2-4-6）。

なお、平成 15 年度から総報酬制が導入され、「報酬」の中に賞与も含まれるようになったため、標準報酬総額が使われる総合費用率、独自給付費用率等は、平成 15 年度前と以後とは接続しない。本稿では、過去との比較のため、参考として標準報酬月額ベースの率も掲載している。

図表 2-4-6 総合費用率の推移

| 年度             | 厚生年金   | 国共済    | 地共済    | 私学共済   |
|----------------|--------|--------|--------|--------|
| 平成             | %      | %      | %      | %      |
| 17             | 17.8   | 16.7   | 16.2   | 11.8   |
| 18             | 17.9   | 17.6   | 16.8   | 12.0   |
| 19             | 17.9   | 18.7   | 17.6   | 12.4   |
| 20             | 18.2   | 19.9   | 19.2   | 12.7   |
| 21             | 19.2   | 19.9   | 19.9   | 12.6   |
| 22             | 19.7   | 20.2   | 20.2   | 13.6   |
| 対前年度増減差        |        |        |        |        |
| 17             | 0.0    | △ 0.4  | 0.8    | 0.2    |
| 18             | 0.0    | 0.9    | 0.6    | 0.2    |
| 19             | △ 0.0  | 1.2    | 0.8    | 0.4    |
| 20             | 0.3    | 1.2    | 1.5    | 0.4    |
| 21             | 1.0    | 0.0    | 0.7    | △ 0.1  |
| 22             | 0.5    | 0.3    | 0.3    | 1.0    |
| (参考) 標準報酬月額ベース |        |        |        |        |
| 7              | <13.7> | <18.7> | <13.2> | <10.8> |
| 12             | <17.9> | <20.9> | <16.1> | <13.8> |
| 17             | <21.4> | <22.4> | <21.6> | <15.7> |
| 18             | <21.4> | <23.5> | <22.4> | <16.0> |
| 19             | <21.4> | <25.1> | <23.5> | <16.4> |
| 20             | <21.7> | <26.6> | <25.6> | <16.8> |
| 21             | <22.5> | <26.3> | <26.1> | <16.5> |
| 22             | <23.2> | <26.4> | <26.1> | <17.7> |

注 1 < >は標準報酬月額ベースである。

注 2 厚生年金は決算ベースであり、厚生年金基金による代行分を含まない。図表2-4-8参照。

総合費用率の推移をみると、厚生年金では、標準報酬月額ベースで平成 7 年度の 13.7%から平成 17 年度の 21.4%まで大きく上昇した。その後は横ばいの状況であったが、平成 20 年度以降は再び上昇し、22 年度には総報酬ベースで 0.5 ポイント上昇した。

国共済、地共済では、両者の財政単位の一元化により、平成16年度以降、地共済から国共済へ財政調整拠出金が拠出されている。この財政調整拠出金により国共済の実質的な支出の規模が縮小し、国共済の総合費用率が低く抑えられている一方、地共済の総合費用率は、財政調整拠出金の拠出により若干高めになっている。国共済、地共済の近年の状況をみると、平成20年度に追加費用減少の影響で総合費用率が大きく上昇したが、21年度には、基礎年金の国庫・公経済負担割合の引上げにより上昇傾向が抑制されている。また、平成22年度は、追加費用が20年度の精算額により増加した影響で、上昇幅が小さくなっている。

私学共済の総合費用率は、上昇傾向が続いている中、平成21年度に0.1ポイント低下したが、22年度には1.0ポイントの上昇となっており、例年に比べ上昇幅が大きかった。

総合費用率は、完全な賦課方式（積立金及びその運用収入がない）で財政運営を行う場合の保険料率に相当する。

総合費用率と保険料率の推移をみると（図表2-4-7）、平成22年度では各制度とも総合費用率が保険料率より高い状況であり、当年度の費用を賄うのに、保険料に加え運用収入等を充てている状況である。なお、厚生年金の総合費用率は決算ベースであり、厚生年金基金による代行分を含んでいないことに留意する必要がある。

図表2-4-7 総合費用率と保険料率の推移

| 年度 | 厚生年金   |        | 国共済    |        | 地共済    |        | 私学共済   |        |
|----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
|    | 総合費用率  | 保険料率   | 総合費用率  | 保険料率   | 総合費用率  | 保険料率   | 総合費用率  | 保険料率   |
| 平成 | %      | %      | %      | %      | %      | %      | %      | %      |
| 7  | <13.7> | 16.5   | <18.7> | 17.44  | <13.2> | 15.84  | <10.8> | 12.8   |
| 12 | <17.9> | 17.35  | <20.9> | 18.39  | <16.1> | 16.56  | <13.8> | 13.3   |
| 17 | 17.8   | 14.288 | 16.7   | 14.638 | 16.2   | 13.738 | 11.8   | 10.814 |
| 18 | 17.9   | 14.642 | 17.6   | 14.767 | 16.8   | 14.092 | 12.0   | 11.168 |
| 19 | 17.9   | 14.996 | 18.7   | 14.896 | 17.6   | 14.446 | 12.4   | 11.522 |
| 20 | 18.2   | 15.350 | 19.9   | 15.025 | 19.2   | 14.800 | 12.7   | 11.876 |
| 21 | 19.2   | 15.704 | 19.9   | 15.154 | 19.9   | 15.154 | 12.6   | 12.230 |
| 22 | 19.7   | 16.058 | 20.2   | 15.508 | 20.2   | 15.508 | 13.6   | 12.584 |

注1 総合費用率欄の<>は標準報酬月額ベースである。

注2 厚生年金の総合費用率は決算ベースであり、厚生年金基金による代行分を含まない。

注3 保険料率は、平成7、12年度は標準報酬月額ベース、平成17年度以降は総報酬ベースの数値であり、本人負担分の2倍を掲げた。また、年度の途中で保険料率が引き上げられた場合には、引上げ後の保険料率を掲げた。

注4 厚生年金の被保険者のうち、坑内員及び船員の保険料率、日本鉄道、日本電信電話及び日本たばこ産業の各旧共済組合の適用法人及び指定法人であった適用事業所に使用される被保険者に係る保険料率、農林漁業団体等の適用事業所に使用される被保険者に係る保険料率については、図表2-1-5に掲げる率である。

## (厚生年金相当部分に係る総合費用率)

共済年金には、厚生年金にない「職域部分」があるため、制度間で総合費用率を比較する際には、同じ給付条件にした場合で比較することも必要である。また、厚生年金についても、決算ベースでは厚生年金基金による代行部分を含んでいないため、比較する際には厚生年金基金代行部分を含める必要がある。このため、各共済の職域部分を除いた「厚生年金相当部分」に係る総合費用率と、厚生年金の実績推計ベースの総合費用率を比べると（図表 2-4-8）、平成 22 年度では、厚生年金（実績推計）の 20.6%に比べ、国共済、地共済は 1.4 ポイント、私学共済は 8.3 ポイントそれぞれ低くなっている。これは、国共済、地共済については、厚生年金に比べ 1 人当たり標準報酬額が高いことが、私学共済については、厚生年金に比べ年金扶養比率が高い（換言すると、成熟が進んでいない）ことなどが要因であると考えられる。

図表 2-4-8 厚生年金相当部分に係る総合費用率の推移

| 年度 | 国共済        | 地共済        | 私学共済       | 厚生年金 |          |
|----|------------|------------|------------|------|----------|
|    | 実績<br>(推計) | 実績<br>(推計) | 実績<br>(推計) | 実績   | 実績<br>推計 |
| 平成 | %          | %          | %          | %    | %        |
| 17 | 15.5       | 14.9       | 11.0       | 17.8 | 18.7     |
| 18 | 16.5       | 15.3       | 11.2       | 17.9 | 18.6     |
| 19 | 17.5       | 16.0       | 11.5       | 17.9 | 18.6     |
| 20 | 18.1       | 17.5       | 11.8       | 18.2 | 19.0     |
| 21 | 18.1       | 17.9       | 11.4       | 19.2 | 20.2     |
| 22 | 19.2       | 19.2       | 12.3       | 19.7 | 20.6     |

  

|                |        |        |        |        |        |
|----------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| (参考) 標準報酬月額ベース |        |        |        |        |        |
| 12             | <19.2> | <15.0> | <13.4> | <17.9> | <18.5> |
| 17             | <20.8> | <19.8> | <14.7> | <21.4> | <22.4> |
| 18             | <22.0> | <20.4> | <14.9> | <21.4> | <22.3> |
| 19             | <23.4> | <21.3> | <15.2> | <21.4> | <22.2> |
| 20             | <24.2> | <23.4> | <15.6> | <21.7> | <22.7> |
| 21             | <23.9> | <23.4> | <15.0> | <22.5> | <23.7> |
| 22             | <25.1> | <24.9> | <16.1> | <23.2> | <24.3> |

注1 厚生年金の実績推計については、用語解説「厚生年金の実績推計」の項を参照のこと。

注2 <>は標準報酬月額ベースの値である。

注3 ここでは、①職域部分を除いた給付費として、旧法(昭和60年改正前)共済年金については一定割合を乗じることによって算出した額を、新法共済年金については年度末の決定年金額を用い、②国庫負担、追加費用は給付費按分で推計した額を用いて算出している。

## (3) 独自給付費用率、基礎年金費用率

平成 22 年度の独自給付費用率は、厚生年金が 14.3%、国共済が 16.2%、地共済が 16.6%と 10%を超える率となっている一方で、私学共済は 9.8%と低くなっている（図表 2-4-9）。

独自給付費用率の推移をみると、近年は、厚生年金が横ばい、国共済が（財政調整拠出金の影響を除くと）概ね上昇傾向、地共済、私学共済が上昇傾向という状況であったが、平成 21 年度には厚生年金が大きく上昇し 14%台になった他、私学共済も 21 年度以降、上昇幅が大きくなっている。国共済、地共済では、一元化法案の提出下で予算を編成したことにより追加費用が平成 20、21 年度に減少した後、22 年度の追加費用がその精算額により増加した状況などを反映し、独自給付費用率は、20 年度、21 年度に上昇、22 年度に下降している。

図表 2-4-9 独自給付費用率の推移

| 年度             | 厚生年金   | 国共済    | 地共済    | 私学共済   |
|----------------|--------|--------|--------|--------|
| 平成             | %      | %      | %      | %      |
| 17             | 12.9   | 12.9   | 13.0   | 8.2    |
| 18             | 12.8   | 13.7   | 13.5   | 8.5    |
| 19             | 12.7   | 14.7   | 14.2   | 8.6    |
| 20             | 12.8   | 15.8   | 15.5   | 8.8    |
| 21             | 14.1   | 16.4   | 16.7   | 9.2    |
| 22             | 14.3   | 16.2   | 16.6   | 9.8    |
| 対前年度増減差        |        |        |        |        |
| 17             | △ 0.0  | △ 0.3  | 0.9    | 0.2    |
| 18             | △ 0.1  | 0.9    | 0.6    | 0.2    |
| 19             | △ 0.1  | 1.0    | 0.6    | 0.2    |
| 20             | 0.1    | 1.1    | 1.4    | 0.2    |
| 21             | 1.3    | 0.5    | 1.2    | 0.4    |
| 22             | 0.2    | △ 0.2  | △ 0.1  | 0.7    |
| (参考) 標準報酬月額ベース |        |        |        |        |
| 7              | <9.9>  | <15.2> | <10.3> | <7.5>  |
| 12             | <13.0> | <16.6> | <12.5> | <9.7>  |
| 17             | <15.5> | <17.2> | <17.3> | <11.0> |
| 18             | <15.4> | <18.4> | <18.0> | <11.3> |
| 19             | <15.2> | <19.7> | <18.9> | <11.4> |
| 20             | <15.2> | <21.1> | <20.7> | <11.6> |
| 21             | <16.6> | <21.6> | <21.9> | <12.0> |
| 22             | <16.8> | <21.1> | <21.5> | <12.8> |

注 1 < >は標準報酬月額ベースである。

注 2 厚生年金は決算ベースであり、厚生年金基金による代行分を含まない。

基礎年金費用率は、厚生年金が最も高く 5.4%、次いで国共済 4.1%、私学共済 3.8%、地共済 3.6%の順となっている（図表 2-4-10）。基礎年金費用率が制度間でこのように異なるのは、1人当たり標準報酬額や第2号・第3号被保険者の比率が制度間で異なることによる。

基礎年金費用率の推移をみると、平成 21 年度には、基礎年金の国庫・公経済負担割合の引上げにより各制度とも 0.4～0.5 ポイント程度低下したが、22 年度には、14 頁で述べた要因により被用者年金の基礎年金拠出金（決算ベース）が増加したことを反映し、各制度で 0.3～0.5 ポイントの上昇となった。

図表 2-4-10 基礎年金費用率の推移

| 年度             | 厚生年金  | 国共済   | 地共済   | 私学共済  |
|----------------|-------|-------|-------|-------|
| 平成             | %     | %     | %     | %     |
| 17             | 4.9   | 3.9   | 3.3   | 3.6   |
| 18             | 5.1   | 3.8   | 3.3   | 3.6   |
| 19             | 5.2   | 4.0   | 3.5   | 3.7   |
| 20             | 5.4   | 4.1   | 3.7   | 3.9   |
| 21             | 5.1   | 3.6   | 3.2   | 3.4   |
| 22             | 5.4   | 4.1   | 3.6   | 3.8   |
| 対前年度増減差        |       |       |       |       |
| 17             | 0.0   | △ 0.1 | △ 0.0 | 0.0   |
| 18             | 0.1   | △ 0.0 | 0.0   | △ 0.0 |
| 19             | 0.1   | 0.2   | 0.2   | 0.2   |
| 20             | 0.2   | 0.1   | 0.2   | 0.2   |
| 21             | △ 0.4 | △ 0.5 | △ 0.5 | △ 0.5 |
| 22             | 0.4   | 0.5   | 0.4   | 0.3   |
| (参考) 標準報酬月額ベース |       |       |       |       |
| 7              | <3.8> | <3.5> | <2.9> | <3.3> |
| 12             | <4.9> | <4.3> | <3.7> | <4.1> |
| 17             | <5.9> | <5.2> | <4.4> | <4.8> |
| 18             | <6.1> | <5.1> | <4.4> | <4.7> |
| 19             | <6.2> | <5.4> | <4.6> | <4.9> |
| 20             | <6.5> | <5.5> | <4.9> | <5.2> |
| 21             | <5.9> | <4.7> | <4.1> | <4.5> |
| 22             | <6.4> | <5.3> | <4.6> | <4.9> |

注 <>は標準報酬月額ベースである。



## (4) 保険料比率及び収支比率

平成22年度の保険料比率は、国民年金（国民年金勘定）が最も高く125.8%、次いで私学共済92.3%、厚生年金77.2%、国共済75.8%、地共済75.1%の順である（図表2-4-11）。被用者年金では、実質的な支出のうち自前で財源を用意しなければならない部分が保険料収入より多くなっており、運用収入や積立金の取崩し等により財源を賄っている状況である。

保険料比率の推移をみると、近年では、厚生年金と私学共済が上昇傾向、その他の制度で低下傾向にあったが、平成21年度以降は、基礎年金の国庫・公経済負担割合が2分の1へ引き上げられたこと等により、国民年金で大幅に上昇している他、国共済、地共済でも上昇傾向になっている。一方、厚生年金は21年度以降、私学共済は22年度に低下している。

国民年金の保険料比率は、70%代にまで下がっていた平成20年度までの状況とは一転し、22年度で125.8%と100%を大きく上回る水準になっているが、これには、前述の基礎年金国庫・公経済負担の引上げに加え、14頁で述べた要因による22年度の基礎年金拠出金（決算ベース）の減少も大きく影響している。22年度の決算ベースの基礎年金拠出金は、算出に用いる納付率の変更で概算額が実際に近くなる一方で、変更前の20年度に係るマイナスの精算額があり、本来の水準より少なくなっている。このため、22年度の国民年金の保険料比率は本来より高めの水準になっていることに留意が必要である。

図表2-4-11 保険料比率の推移

| 年度      | 厚生年金  | 国共済   | 地共済   | 私学共済  | 国民年金<br>(国民年金勘定) |
|---------|-------|-------|-------|-------|------------------|
| 平成      | %     | %     | %     | %     | %                |
| 7       | 111.9 | 96.3  | 123.5 | 121.4 | 117.5            |
| 12      | 90.5  | 89.9  | 105.0 | 99.0  | 109.1            |
| 17      | 75.6  | 87.0  | 83.3  | 91.7  | 85.7             |
| 18      | 77.3  | 83.5  | 82.5  | 92.7  | 79.1             |
| 19      | 79.3  | 79.1  | 80.5  | 93.0  | 78.1             |
| 20      | 79.8  | 75.0  | 75.7  | 93.1  | 74.1             |
| 21      | 77.6  | 75.7  | 74.7  | 96.9  | 93.8             |
| 22      | 77.2  | 75.8  | 75.1  | 92.3  | 125.8            |
| 対前年度増減差 |       |       |       |       |                  |
| 17      | 1.3   | 2.7   | △ 2.1 | 0.8   | △ 6.3            |
| 18      | 1.8   | △ 3.6 | △ 0.8 | 1.0   | △ 6.7            |
| 19      | 2.0   | △ 4.4 | △ 2.0 | 0.3   | △ 1.0            |
| 20      | 0.5   | △ 4.0 | △ 4.7 | 0.1   | △ 4.0            |
| 21      | △ 2.1 | 0.6   | △ 1.1 | 3.8   | 19.7             |
| 22      | △ 0.4 | 0.1   | 0.5   | △ 4.6 | 32.1             |

注 厚生年金は決算ベースであり、厚生年金基金による代行分を含まない。

また、収支比率の推移は、図表 2-4-12 のとおりである。平成 22 年度は、国民年金で、簿価ベース、時価ベースともに 100%を下回っており、自前で財源を用意しなければならない分を保険料収入と運用収入で賄っている状況である。

図表 2-4-12 収支比率の推移

| 年度      | 厚生年金             | 国共済              | 地共済                | 私学共済              | 国民年金<br>(国民年金勘定)   |
|---------|------------------|------------------|--------------------|-------------------|--------------------|
| 平成      | %                | %                | %                  | %                 | %                  |
| 7       | 69.0             | 75.1             | 57.0               | 55.3              | 72.5               |
| 12      | 90.5             | 89.3             | 72.6               | 74.3              | 80.2               |
| 17      | 121.3<br>[90.7]  | 93.0<br>[79.1]   | 82.7<br>[57.9]     | 74.0<br>[65.5]    | 109.0<br>[87.6]    |
| 18      | 115.2<br>[107.4] | 95.6<br>[96.4]   | 80.0<br>[83.4]     | 76.1<br>[73.2]    | 114.6<br>[109.8]   |
| 19      | 117.2<br>[161.9] | 99.6<br>[132.6]  | 89.1<br>[234.3]    | 84.0<br>[178.1]   | 120.9<br>[153.5]   |
| 20      | 116.3<br>[203.6] | 114.5<br>[196.5] | 112.5<br>[1,176.2] | 92.8<br>[511.4]   | 127.0<br>[204.2]   |
| 21      | 128.8<br>[92.8]  | 115.3<br>[92.8]  | 114.5<br>[73.7]    | 91.3<br>[58.8]    | 106.6<br>[81.3]    |
| 22      | 128.1<br>[131.3] | 113.3<br>[120.5] | 114.6<br>[133.8]   | 96.5<br>[106.8]   | 79.4<br>[80.4]     |
| 対前年度増減差 |                  |                  |                    |                   |                    |
| 17      | △ 3.0<br>[△22.4] | △ 5.3<br>[△17.7] | △ 10.8<br>[△25.2]  | △ 12.8<br>[△13.0] | 5.9<br>[△7.9]      |
| 18      | △ 6.1<br>[16.6]  | 2.7<br>[17.3]    | △ 2.8<br>[25.5]    | 2.1<br>[7.7]      | 5.6<br>[22.2]      |
| 19      | 2.0<br>[54.5]    | 4.0<br>[36.2]    | 9.2<br>[150.9]     | 8.0<br>[104.9]    | 6.3<br>[43.7]      |
| 20      | △ 0.9<br>[41.7]  | 14.9<br>[63.9]   | 23.4<br>[941.9]    | 8.8<br>[333.3]    | 6.1<br>[50.7]      |
| 21      | 12.5<br>[△110.8] | 0.8<br>[△103.8]  | 2.0<br>[△1,102.5]  | △ 1.5<br>[△452.6] | △ 20.4<br>[△123.0] |
| 22      | △ 0.7<br>[38.5]  | △ 2.0<br>[27.7]  | 0.1<br>[60.1]      | 5.2<br>[48.0]     | △ 27.2<br>[△0.9]   |

注1 [ ]内の数値は、時価ベースである。

注2 厚生年金は決算ベースであり、厚生年金基金による代行分を含まない。

## (5) 積立比率

平成 22 年度の積立比率を簿価ベースで比較すると、地共済が最も高く 10.0、次いで私学共済 9.0、国共済 6.2、国民年金（国民年金勘定）5.6、厚生年金 4.1 の順となっている（図表 2-4-13）。平成 21 年度に比べ、私学共済、厚生年金で低下している一方、国民年金で大きく上昇した。また、時価ベースの積立比率は、厚生年金 4.1、国共済 6.1、地共済 9.7、私学共済 9.0、国民年金 5.7 となっており、平成 21 年度に比べ、国民年金、地共済で上昇し、他制度はほぼ横ばいであった。

国民年金では、平成 21 年度以降、積立比率が大きく上昇しているが、基礎年金の国庫・公経済負担割合の引上げや、14 頁で述べた要因による 22 年度の基礎年金拠出金の減少で、積立比率の分母である「実質的な支出－国庫・公経済負担」が小さくなったことが要因である。保険料比率と同様の理由で、国民年金の 22 年度の積立比率は本来より高めの水準になっていることに留意する必要がある。

なお、積立比率は前年度末積立金を用いて評価している指標であるため、平成 22 年度の積立比率は、21 年度末の積立金の水準を反映したものになっている。

図表 2-4-13 積立比率の推移

| 年度      | 厚生年金            | 国共済             | 地共済             | 私学共済            | 国民年金<br>(国民年金勘定) |
|---------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|------------------|
| 平成      | 年               | 年               | 年               | 年               | 年                |
| 7       | 6.3             | 7.4             | 12.2            | 12.9            | 4.1              |
| 12      | 6.1             | 7.3             | 12.4            | 11.9            | 5.2              |
| 17      | 5.2<br>[5.2]    | 7.4<br>[7.5]    | 10.5<br>[10.7]  | 10.3<br>[10.6]  | 4.3<br>[4.3]     |
| 18      | 4.9<br>[5.2]    | 7.1<br>[7.4]    | 10.6<br>[11.2]  | 10.3<br>[10.8]  | 3.8<br>[4.0]     |
| 19      | 4.7<br>[5.0]    | 6.7<br>[7.0]    | 10.5<br>[11.1]  | 10.1<br>[10.6]  | 3.7<br>[3.9]     |
| 20      | 4.5<br>[4.6]    | 6.3<br>[6.4]    | 10.1<br>[10.0]  | 9.9<br>[9.8]    | 3.5<br>[3.6]     |
| 21      | 4.3<br>[4.1]    | 6.3<br>[6.0]    | 10.0<br>[9.2]   | 9.9<br>[9.1]    | 4.3<br>[4.0]     |
| 22      | 4.1<br>[4.1]    | 6.2<br>[6.1]    | 10.0<br>[9.7]   | 9.0<br>[9.0]    | 5.6<br>[5.7]     |
| 対前年度増減差 |                 |                 |                 |                 |                  |
| 17      | △ 0.1<br>[0.0]  | 0.2<br>[0.2]    | △ 0.3<br>[△0.2] | △ 0.2<br>[△0.0] | △ 0.4<br>[△0.3]  |
| 18      | △ 0.3<br>[△0.0] | △ 0.3<br>[△0.1] | 0.0<br>[0.5]    | 0.0<br>[0.2]    | △ 0.5<br>[△0.3]  |
| 19      | △ 0.2<br>[△0.1] | △ 0.3<br>[△0.4] | △ 0.0<br>[△0.1] | △ 0.2<br>[△0.2] | △ 0.1<br>[△0.1]  |
| 20      | △ 0.2<br>[△0.5] | △ 0.4<br>[△0.6] | △ 0.5<br>[△1.1] | △ 0.2<br>[△0.8] | △ 0.2<br>[△0.4]  |
| 21      | △ 0.1<br>[△0.5] | △ 0.1<br>[△0.4] | △ 0.1<br>[△0.8] | △ 0.0<br>[△0.7] | 0.7<br>[0.4]     |
| 22      | △ 0.3<br>[0.0]  | △ 0.1<br>[0.1]  | 0.0<br>[0.5]    | △ 0.9<br>[△0.1] | 1.4<br>[1.7]     |

注 1 [ ]内の数値は、時価ベースである。

注 2 厚生年金は決算ベースであり、厚生年金基金による代行分を含まない。

## 《参考1》財政指標の定義及び意味

## ○年金扶養比率

年金扶養比率は、「被保険者数」の「老齢・退年相当の老齢・退職年金受給権者数」に対する比であり、1人の老齢・退年相当の受給権者を何人の被保険者で支えているかを表す指標である。

$$\text{年金扶養比率} = \frac{\text{年度末被保険者数}}{\text{年度末老齢・退職年金受給権者数（老齢・退年相当）}}$$

年金扶養比率が高いということは、1人の老齢・退年相当の受給権者を支える被保険者数が多いことを意味する。

一般に、年金扶養比率は、年金制度の発足後しばらくは高く、やがて次第に低くなっていくという経過を辿る。最初のうちは、加入期間が長くて老齢・退年相当の扱いを受ける受給権者が被保険者に比べて少ないが、やがて時間が経つに連れ、加入期間の長い受給権者が相対的に増えてくる（溜まってくる）からである。この現象を年金制度の成熟化というが、年金扶養比率は、制度の成熟状況を人数ベースで表すものである。また、賦課方式の考え方をとる年金制度にあっては、一般に、年金扶養比率が低いことは被保険者の負担が大きいことを、年金扶養比率が高いことは被保険者の負担が小さいことを意味する。

## ○総合費用率

総合費用率は、支出額のうち自前で財源を用意しなければならない分である「実質的な支出－国庫・公経済負担」を、標準報酬総額に対する百分比として捉えた指標である。

$$\text{総合費用率} = \frac{\text{実質的な支出－国庫・公経済負担}}{\text{標準報酬総額}} \times 100$$

ここで、実質的な支出とは、給付費、基礎年金拠出金などの支出項目の合計から、給付費の一部に充てられる基礎年金交付金、追加費用などの収入項目を控除して得られる額である<sup>注</sup>。「実質的な支出－国庫・公経済負担」は、保険料・積立金・運用収入で賄う必要のある支出額、言い換えると、制度が自前で財源を用意しなくてはならない支出額である。

注 具体的な算式は用語解説「実質的な支出」の項を参照のこと。

総合費用率は、自前で財源を用意しなければならない費用の水準を標準報酬総額に対する比で捉えたもので、年金財政を把握する上で基本的なものである。

また、総合費用率は、年金扶養比率の被保険者数を被保険者の標準報酬総額に、受給権者数を「実質的な支出－国庫・公経済負担」に置き換えたものとみれば、制度の成熟状況を金額ベースで表したものと言える（ただし年金扶養比率とは逆に、制度の成熟と共に上昇する。）。

さらに総合費用率は、完全な賦課方式（積立金及びその運用収入がない）で財政運営を行う場合の保険料率に相当する。この意味で、総合費用率のことを純賦課保険料率ということもある。総合費用率と保険料率を比較すると、一般に、総合費用率が保険料率より低い場合には、保険料で当年度の費用を賄っていることを示している。一方、高い場合には、保険料を全て充てても不足する分について運用収入を充て、さらに不足する分がある場合には、積立金の取崩し等、他の方法も用いて賄っていることを示している。

なお、平成15年度より、保険料の賦課が「標準報酬月額ベース」から「総報酬ベース」に変更されている。このため、本稿では、特に断らない限り、平成14年度までは「標準報酬月額ベース」、平成15年度以降は「総報酬ベース」とした（独自給付費用率、基礎年金費用率、年金種別費用率も同様）。また、自営業者等を対象とする国民年金については、報酬概念がないことから総合費用率は作成されない。

### ○独自給付費用率、基礎年金費用率

総合費用率の計算式における分子「実質的な支出－国庫・公経済負担」を、基礎年金以外に関する支出（以下、独自給付に関する支出という）と基礎年金に関する支出に分けて考えてみる。

独自給付に関する支出＝実質的な支出－国庫・公経済負担

－基礎年金拠出金（国庫・公経済負担分除く）<sup>注</sup>

基礎年金に関する支出＝基礎年金拠出金（国庫・公経済負担分除く）<sup>注</sup>

注 基礎年金拠出金（国庫・公経済負担分除く）としているのは、国庫・公経済負担の中に基礎年金拠出金に係る国庫・公経済負担分が含まれているからである。

これらを、標準報酬総額に対する百分比として捉えた指標を、それぞれ独自給付費用率、基礎年金費用率という。

$$\text{独自給付費用率} = \frac{\text{実質的な支出} - \text{国庫・公経済負担} - \text{基礎年金拠出金} \left( \begin{array}{l} \text{国庫・公経済} \\ \text{負担分除く} \end{array} \right)}{\text{標準報酬総額}} \times 100$$

$$\text{基礎年金費用率} = \frac{\text{基礎年金拠出金} \left( \begin{array}{l} \text{国庫・公経済} \\ \text{負担分除く} \end{array} \right)}{\text{標準報酬総額}} \times 100$$

これらは、自前で用意しなければならない費用のうち、独自給付にかかる費用、基礎年金にかかる費用を、標準報酬総額に対する比で捉えたものである。

なお、定義より

$$\text{総合費用率} = \text{独自給付費用率} + \text{基礎年金費用率}$$

が成り立つ。

### ○保険料比率

保険料比率は、支出額のうち自前で財源を用意しなければならない分のどの程度を保険料収入だけで賄えるかを示した指標であり、保険料収入の「実質的な支出－国庫・公経済負担」に対する百分比である。

$$\text{保険料比率} = \frac{\text{保険料収入}}{\text{実質的な支出} - \text{国庫・公経済負担}} \times 100$$

保険料比率が100%以上なら、自前で財源を用意しなければならない分を保険料収入だけで賄えているが、100%未満になると、運用収入等、他の収入で賄わなければならない状況にある。

### ○収支比率

収支比率は、支出額のうち自前で財源を用意しなければならない分である「実質的な支出－国庫・公経済負担」を「保険料収入＋運用収入」に対する百分比で捉えた指標である。

$$\text{収支比率} = \frac{\text{実質的な支出} - \text{国庫・公経済負担}}{\text{保険料収入} + \text{運用収入}} \times 100$$

収支比率が100%以下なら、自前で財源を用意しなければならない分を保険料収入と運用収入で賄えているが、100%を超えると、積立金の取崩し等、他の方法が必要な状況にある。

### ○積立比率

積立比率は、積立金が、支出額のうち自前で財源を用意しなければならない分の何年分に相当するかを表す指標であり、前年度末積立金の当該年度の「実質的な支出－国庫・公経済負担」に対する比である。

$$\text{積立比率} = \frac{\text{前年度末積立金}}{\text{実質的な支出－国庫・公経済負担}}$$

なお、積立比率に似た概念として、積立度合がある。積立度合は、前年度末に保有する積立金が、国庫・公経済負担や追加費用を含めた実質的な支出総額（＝実質的な支出＋追加費用）の何年分に相当しているかを表す指標であり、前年度末に保有する積立金が、実質的な支出のうち、保険料拠出によって賄う部分（国庫・公経済負担を除いた部分）の何年分に相当しているかを表す積立比率とは異なる。

$$\begin{aligned} \text{積立度合} &= \frac{\text{前年度末積立金}}{\text{実質的な支出＋追加費用}} \\ &= \frac{(\text{積立比率の分子})}{(\text{積立比率の分母}) + \text{国庫・公経済負担} + \text{追加費用}} \end{aligned}$$

積立比率は、積立金の水準を負担面から見る指標であるのに対し、積立度合は、積立金の水準を給付面から見る指標であると言える。本稿では、財政状況をみるという観点から、「法律によって手当てされることが定められている国庫・公経済負担や追加費用の影響を除き、その制度が自前で財源を調達している費用と比べて、どの程度積立金をもっているか」を示す積立比率で分析を行っている。

### ○年金種別費用率

前述の年金扶養比率は、人数を基準として成熟の度合を示す指標であり、その分母には「老齢・退年相当の受給権者数」を用いている。しかしながら、年金制度には、他にも通老・通退相当や遺族年金、障害年金があり、それらを受給している人数は年金扶養比率には反映されていない。このため、年金扶養比率を補完する指標として、次の年金種別費用率（老齢費用率、障害費用率、遺族費用率）を作成し、年金扶養比率をみる際にあわせて評価している。

$$\text{老齢費用率} = \frac{\text{「実質的な支出－国庫・公経済負担」のうち老齢給付に相当する額}}{\text{標準報酬総額}} \times 100$$

$$\text{障害費用率} = \frac{\text{「実質的な支出－国庫・公経済負担」のうち障害給付に相当する額}}{\text{標準報酬総額}} \times 100$$

$$\text{遺族費用率} = \frac{\text{「実質的な支出－国庫・公経済負担」のうち遺族給付に相当する額}}{\text{標準報酬総額}} \times 100$$

注 「実質的な支出－国庫・公経済負担」のうち拠出金に相当する分については、老齢給付に相当する額、障害給付に相当する額、遺族給付に相当する額のいずれにも含まれない。

年金種別費用率は、支出額のうち自前で財源を用意しなければならない分である「実質的な支出－国庫・公経済負担」のうち、各年金種別の給付（老齢給付、障害給付、遺族給付）に相当する額を、標準報酬総額に対する百分比として捉えた指標である。

なお、総合費用率と年金種別費用率には、以下のような関係がある。

総合費用率

＝ 老齢費用率 ＋ 障害費用率 ＋ 遺族費用率 ＋ その他（拠出金）の費用率



## 《参考2》詳細統計表

参考として、第2章の本文中に掲載した図表（途中年度を省略した図表）について、詳細版の統計表を以下に掲載しておく。

## 【1 財政収支の現状及び推移】

○図表 2-1-4 保険料収入の推移

| 年度 | 厚生年金    |       |       | 国共済    | 地共済    | 私学共済  | 被用者年金<br>制度計 | 国民年金<br>(国民年金勘定) | 公的年金<br>制度全体 |
|----|---------|-------|-------|--------|--------|-------|--------------|------------------|--------------|
|    | 旧三共済    | 旧農林年金 |       |        |        |       |              |                  |              |
| 平成 | 億円      | 億円    | 億円    | 億円     | 億円     | 億円    | 億円           | 億円               | 億円           |
| 7  | 186,933 | 4,209 | 3,153 | 9,066  | 27,437 | 2,066 | 232,864      | 18,251           | 251,116      |
| 8  | 193,706 | 4,352 | 3,213 | 9,454  | 28,391 | 2,127 | 241,242      | 19,209           | 260,451      |
| 9  | 206,832 |       | 3,345 | 9,816  | 29,712 | 2,238 | 251,943      | 19,453           | 271,397      |
| 10 | 206,151 |       | 3,334 | 9,881  | 30,035 | 2,281 | 251,682      | 19,716           | 271,398      |
| 11 | 202,099 |       | 3,317 | 9,957  | 30,218 | 2,315 | 247,906      | 20,025           | 267,931      |
| 12 | 200,512 |       | 3,289 | 10,206 | 29,882 | 2,351 | 246,240      | 19,678           | 265,919      |
| 13 | 199,360 |       | 3,249 | 10,252 | 29,857 | 2,384 | 245,102      | 19,538           | 264,640      |
| 14 | 202,034 |       |       | 10,130 | 29,656 | 2,508 | 244,597      | 18,958           | 263,555      |
| 15 | 192,425 |       |       | 10,231 | 29,677 | 2,658 | 234,991      | 19,627           | 254,618      |
| 16 | 194,537 |       |       | 10,218 | 29,735 | 2,680 | 237,171      | 19,354           | 256,525      |
| 17 | 200,584 |       |       | 10,290 | 30,099 | 2,789 | 243,762      | 19,480           | 263,242      |
| 18 | 209,835 |       |       | 10,333 | 30,312 | 2,918 | 253,397      | 19,038           | 272,435      |
| 19 | 219,691 |       |       | 10,350 | 30,358 | 3,049 | 263,448      | 18,582           | 282,029      |
| 20 | 226,905 |       |       | 10,432 | 30,188 | 3,190 | 270,716      | 17,470           | 288,186      |
| 21 | 222,409 |       |       | 10,327 | 29,499 | 3,299 | 265,534      | 16,950           | 282,483      |
| 22 | 227,252 |       |       | 10,298 | 29,167 | 3,419 | 270,137      | 16,717           | 286,854      |

注1 厚生年金の平成8年度以前は旧三共済を含まず、平成13年度以前は旧農林年金を含まない。

注2 平成14、15年度の被用者年金制度計及び公的年金制度全体には、旧農林年金分（統合前に係る分）を含めてあるため、各制度の値の和と一致しない。

○図表 2-1-6 国庫・公経済負担の推移

| 年度 | 厚生年金   |       |     | 国共済   | 地共済   | 私学共済  | 被用者年金<br>制度計 | 国民年金<br>(国民年金勘定) | 公的年金<br>制度全体 |
|----|--------|-------|-----|-------|-------|-------|--------------|------------------|--------------|
|    | 旧三共済   | 旧農林年金 |     |       |       |       |              |                  |              |
| 平成 | 億円     | 億円    | 億円  | 億円    | 億円    | 億円    | 億円           | 億円               | 億円           |
| 7  | 28,295 | 688   | 525 | 988   | 2,602 | 294   | 33,393       | 11,846           | 45,238       |
| 8  | 25,169 | 700   | 539 | 1,055 | 2,786 | 318   | 30,568       | 14,679           | 45,247       |
| 9  | 27,115 |       | 530 | 1,095 | 2,868 | 327   | 31,936       | 13,322           | 45,258       |
| 10 | 28,302 |       | 523 | 1,166 | 2,896 | 344   | 33,231       | 13,265           | 46,496       |
| 11 | 36,356 |       | 539 | 1,219 | 3,043 | 368   | 41,525       | 13,227           | 54,752       |
| 12 | 37,209 |       | 580 | 1,315 | 3,346 | 404   | 42,853       | 13,637           | 56,489       |
| 13 | 38,164 |       | 600 | 1,348 | 3,506 | 415   | 44,032       | 14,307           | 58,340       |
| 14 | 40,036 |       |     | 1,372 | 3,440 | 429   | 45,416       | 14,565           | 59,982       |
| 15 | 41,045 |       |     | 1,433 | 3,302 | 452   | 46,264       | 14,963           | 61,227       |
| 16 | 42,792 |       |     | 1,525 | 3,795 | 499   | 48,619       | 15,219           | 63,838       |
| 17 | 45,394 |       |     | 1,589 | 3,828 | 537   | 51,348       | 17,020           | 68,368       |
| 18 | 48,285 |       |     | 1,622 | 3,958 | 557   | 54,423       | 17,971           | 72,394       |
| 19 | 51,659 |       |     | 1,720 | 4,427 | 605   | 58,411       | 18,436           | 76,847       |
| 20 | 54,323 |       |     | 1,747 | 4,630 | 637   | 61,337       | 18,558           | 79,895       |
| 21 | 77,983 |       |     | 2,464 | 6,368 | 925   | 87,739       | 20,554           | 108,293      |
| 22 | 84,326 |       |     | 2,702 | 6,630 | 1,030 | 94,687       | 16,898           | 111,586      |

注1 厚生年金の平成8年度以前は旧三共済を含まず、平成13年度以前は旧農林年金を含まない。

注2 平成14～16年度の被用者年金制度計及び公的年金制度全体には、旧農林年金分（統合前に係る分）を含めてあるため、各制度の値の和と一致しない。

○図表 2-1-8 追加費用の推移

| 年度 | 国共済   | 地共済    | 計      |
|----|-------|--------|--------|
| 平成 | 億円    | 億円     | 億円     |
| 7  | 6,060 | 15,559 | 21,619 |
| 8  | 5,758 | 16,009 | 21,766 |
| 9  | 5,894 | 16,059 | 21,953 |
| 10 | 6,062 | 15,745 | 21,808 |
| 11 | 5,807 | 15,271 | 21,078 |
| 12 | 5,612 | 14,756 | 20,368 |
| 13 | 5,400 | 14,572 | 19,972 |
| 14 | 5,326 | 14,139 | 19,465 |
| 15 | 5,187 | 13,352 | 18,539 |
| 16 | 4,918 | 12,465 | 17,383 |
| 17 | 4,702 | 11,896 | 16,599 |
| 18 | 4,569 | 11,344 | 15,914 |
| 19 | 4,294 | 10,794 | 15,088 |
| 20 | 3,538 | 9,445  | 12,982 |
| 21 | 3,357 | 9,658  | 13,015 |
| 22 | 4,265 | 11,611 | 15,875 |

○図表 2-1-9 運用収入の推移

| 年度 | 厚生年金       |       |       | 国共済       | 地共済        | 私学共済      | 被用者年金<br>制度計 | 国民年金       |            | 公的年金制<br>度全体 |
|----|------------|-------|-------|-----------|------------|-----------|--------------|------------|------------|--------------|
|    |            | 旧三共済  | 旧農林年金 |           |            |           |              | 国民年金<br>勘定 | 基礎年金<br>勘定 |              |
| 平成 | 億円         | 億円    | 億円    | 億円        | 億円         | 億円        | 億円           | 億円         | 億円         | 億円           |
| 7  | 55,268     | 1,067 | 875   | 3,463     | 11,543     | 1,056     | 73,273       | 3,184      | 767        | 77,223       |
| 8  | 56,061     | 1,693 | 781   | 3,505     | 10,910     | 985       | 73,935       | 3,296      | 700        | 77,931       |
| 9  | 55,637     |       | 774   | 3,289     | 11,009     | 996       | 71,706       | 3,405      | 616        | 75,726       |
| 10 | 52,164     |       | 715   | 2,728     | 10,535     | 989       | 67,131       | 3,368      | 385        | 70,884       |
| 11 | 47,286     |       | 676   | 2,666     | 12,109     | 1,013     | 63,750       | 3,236      | 386        | 67,372       |
| 12 | 43,067     |       | 698   | 2,499     | 9,328      | 875       | 56,466       | 2,828      | 304        | 59,598       |
| 13 | 38,607     |       | 507   | 2,104     | 7,872      | 783       | 49,873       | 2,263      | 209        | 52,345       |
|    | [26,541]   |       |       | [1,341]   |            |           |              | [1,246]    |            |              |
| 14 | 31,071     |       |       | 2,169     | 6,870      | 667       | 40,777       | 1,897      | 175        | 42,848       |
|    | [2,731]    |       |       | [1,757]   |            | [△ 90]    |              | [△ 371]    |            |              |
| 15 | 22,884     |       |       | 2,358     | 7,000      | 670       | 32,912       | 1,523      | 79         | 34,513       |
|    | [64,232]   |       |       | [3,282]   | [16,995]   | [809]     | [85,318]     | [4,482]    |            | [89,879]     |
| 16 | 16,125     |       |       | 2,109     | 7,534      | 738       | 26,506       | 1,044      | 83         | 27,632       |
|    | [36,934]   |       |       | [2,291]   | [12,200]   | [1,103]   | [52,527]     | [2,654]    |            | [55,264]     |
| 17 | 18,298     |       |       | 2,423     | 13,604     | 1,359     | 35,684       | 1,357      | 83         | 37,124       |
|    | [91,893]   |       |       | [4,647]   | [32,363]   | [1,903]   | [130,806]    | [6,451]    |            | [137,340]    |
| 18 | 25,708     |       |       | 2,607     | 15,645     | 1,250     | 45,209       | 1,965      | 115        | 47,289       |
|    | [42,790]   |       |       | [2,503]   | [13,769]   | [1,416]   | [60,478]     | [2,879]    |            | [63,472]     |
| 19 | 16,582     |       |       | 2,789     | 11,966     | 873       | 32,211       | 1,113      | 169        | 33,492       |
|    | [△ 48,705] |       |       | [△ 479]   | [△ 14,259] | [△ 1,237] | [△ 64,679]   | [△ 3,073]  |            | [△ 67,583]   |
| 20 | 17,682     |       |       | 1,712     | 5,242      | 513       | 25,149       | 1,093      | 172        | 26,414       |
|    | [△ 87,252] |       |       | [△ 3,356] | [△ 26,799] | [△ 2,572] | [△ 119,979]  | [△ 5,924]  |            | [△ 125,731]  |
| 21 | 50         |       |       | 1,508     | 5,014      | 440       | 7,013        | 3          | 126        | 7,142        |
|    | [86,258]   |       |       | [4,385]   | [24,130]   | [2,542]   | [117,316]    | [5,296]    |            | [122,737]    |
| 22 | 2,518      |       |       | 1,695     | 4,717      | 428       | 9,358        | 3          | 93         | 9,455        |
|    | [△ 3,069]  |       |       | [979]     | [△ 145]    | [52]      | [△ 2,183]    | [△ 194]    |            | [△ 2,284]    |

注1 厚生年金の平成8年度以前は旧三共済を含まず、平成13年度以前は旧農林年金を含まない。

注2 平成17年度以降の厚生年金・国民年金の時価ベースの運用収入は、年金積立金管理運用独立行政法人納付金(17年度は年金資金運用基金納付金)を加えたものを計上している。

注3 []内は、時価ベースである。

注4 厚生年金・国民年金の時価ベースは、旧年金福祉事業団から承継した資産に係る損益を含めて、年金積立金管理運用独立行政法人(17年度以前は旧年金資金運用基金)における市場運用分の運用実績を時価ベースで評価したものである。なお、承継資産に係る損益の厚生年金・国民年金への按分は、厚生年金・国民年金のそれぞれの積立金の元本平均残高の比率により行っている。

注5 国共済、地共済、私学共済の時価ベースの運用収入は、正味運用収入(運用収入から有価証券売却損等の費用を減じた収益額)に年度末積立金の評価損益の増減分を加算して推計しており、参考値である。なお、国共済の時価ベースの運用収入は、平成10年度が2,542億円、11年度が3,147億円、12年度が1,678億円である。

○図表 2-1-10 運用利回りの推移

| 年度 | 厚生年金     |       | 国共済      | 地共済      | 私学共済     | 国民年金<br>(国民年金勘定) |
|----|----------|-------|----------|----------|----------|------------------|
|    |          | 旧農林年金 |          |          |          |                  |
| 平成 | %        | %     | %        | %        | %        | %                |
| 7  | 5.24     | 4.92  | 4.97     | 4.23     | 4.60     | 4.90             |
| 8  | 4.99     | 4.23  | 4.82     | 3.74     | 4.03     | 4.56             |
| 9  | 4.66     | 4.08  | 4.32     | 3.57     | 3.86     | 4.26             |
| 10 | 4.15     | 3.69  | 3.44     | 3.24     | 3.66     | 3.94             |
| 11 | 3.62     | 3.45  | 3.27     | 3.57     | 3.59     | 3.58             |
| 12 | 3.22     | 3.55  | 3.01     | 2.61     | 2.99     | 2.98             |
| 13 | …        | 2.54  | 2.42     | 2.05     | 2.60     | …                |
|    | [1.99]   |       | [1.56]   |          |          | [1.29]           |
| 14 | …        |       | 2.45     | 1.77     | 2.20     | …                |
|    | [0.21]   |       | [2.05]   |          | [△ 0.28] | [△ 0.39]         |
| 15 | …        |       | 2.68     | 1.81     | 2.00     | …                |
|    | [4.91]   |       | [3.84]   | [4.83]   | [2.61]   | [4.78]           |
| 16 | …        |       | 2.35     | 1.98     | 1.79     | …                |
|    | [2.73]   |       | [2.65]   | [3.23]   | [3.35]   | [2.77]           |
| 17 | …        |       | 2.43     | 3.59     | 4.16     | …                |
|    | [6.82]   |       | [5.36]   | [8.44]   | [5.78]   | [6.88]           |
| 18 | …        |       | 3.02     | 4.02     | 3.76     | …                |
|    | [3.10]   |       | [2.79]   | [3.36]   | [4.07]   | [3.07]           |
| 19 | …        |       | 3.18     | 3.02     | 3.14     | …                |
|    | [△ 3.54] |       | [△ 0.53] | [△ 3.42] | [△ 2.81] | [△ 3.38]         |
| 20 | …        |       | 1.20     | 0.85     | △ 0.23   | …                |
|    | [△ 6.83] |       | [△ 3.89] | [△ 6.79] | [△ 7.62] | [△ 7.29]         |
| 21 | …        |       | 1.50     | 1.05     | △ 0.55   | …                |
|    | [7.54]   |       | [5.52]   | [6.73]   | [8.27]   | [7.48]           |
| 22 | …        |       | 1.76     | 1.06     | 0.86     | …                |
|    | [△ 0.26] |       | [1.21]   | [△ 0.04] | [0.16]   | [△ 0.25]         |

注1 厚生年金の平成8年度以前は旧三共済を含まず、平成13年度以前は旧農林年金を含まない。

注2 []内は、時価ベースである。

注3 厚生年金・国民年金の「時価ベース」は、旧年金福祉事業団から承継した資産に係る損益を含めて、年金積立金管理運用独立行政法人(17年度以前は旧年金資金運用基金)における市場運用分の運用実績を時価ベースで評価したものである。なお、承継資産に係る損益の厚生年金・国民年金への按分は、厚生年金・国民年金のそれぞれの積立金の元本平均残高の比率により行っている。

注4 国共済、地共済、私学共済の時価ベースの運用利回りは、時価ベースの運用収入(参考値)を基にした修正総合利回りを計上している。なお、国共済の時価ベースの運用利回りは、平成10年度が 3.17%、11年度が 3.80%、12年度が 2.03%である。

○図表 2-1-11 給付費の推移

| 年度 | 厚生年金    |        |       | 国共済    | 地共済    | 私学共済  | 被用者年金<br>制度計 | 国民年金       |            | 公的年金<br>制度全体 |
|----|---------|--------|-------|--------|--------|-------|--------------|------------|------------|--------------|
|    |         | 旧三共済   | 旧農林年金 |        |        |       |              | 国民年金<br>勘定 | 基礎年金<br>勘定 |              |
| 平成 | 億円      | 億円     | 億円    | 億円     | 億円     | 億円    | 億円           | 億円         | 億円         | 億円           |
| 7  | 150,413 | 13,040 | 3,376 | 16,005 | 38,176 | 1,538 | 222,547      | 32,193     | 41,695     | 296,435      |
| 8  | 156,890 | 12,932 | 3,467 | 16,117 | 38,805 | 1,618 | 229,829      | 31,042     | 49,455     | 310,326      |
| 9  | 172,895 |        | 3,567 | 16,240 | 39,376 | 1,694 | 233,772      | 29,783     | 57,690     | 321,245      |
| 10 | 182,824 |        | 3,707 | 16,517 | 40,523 | 1,794 | 245,364      | 28,933     | 67,114     | 341,411      |
| 11 | 187,364 |        | 3,774 | 16,608 | 41,177 | 1,864 | 250,787      | 27,781     | 76,146     | 354,715      |
| 12 | 191,544 |        | 3,854 | 16,800 | 41,430 | 1,942 | 255,569      | 26,454     | 84,774     | 366,798      |
| 13 | 196,228 |        | 3,916 | 16,867 | 42,005 | 2,023 | 261,039      | 25,133     | 93,633     | 379,805      |
| 14 | 203,466 |        |       | 16,852 | 42,298 | 2,112 | 265,399      | 23,819     | 102,494    | 391,711      |
| 15 | 208,140 |        |       | 16,849 | 42,618 | 2,185 | 269,792      | 22,293     | 110,735    | 402,821      |
| 16 | 216,301 |        |       | 16,779 | 42,783 | 2,252 | 278,115      | 20,888     | 118,118    | 417,121      |
| 17 | 220,794 |        |       | 16,693 | 42,915 | 2,310 | 282,712      | 19,527     | 126,386    | 428,625      |
| 18 | 223,491 |        |       | 16,686 | 43,149 | 2,375 | 285,701      | 18,149     | 134,909    | 438,759      |
| 19 | 224,059 |        |       | 16,734 | 43,503 | 2,441 | 286,736      | 16,862     | 144,618    | 448,217      |
| 20 | 226,870 |        |       | 16,736 | 43,917 | 2,508 | 290,032      | 15,779     | 154,458    | 460,269      |
| 21 | 238,467 |        |       | 16,775 | 44,694 | 2,579 | 302,515      | 14,773     | 164,269    | 481,557      |
| 22 | 240,092 |        |       | 16,817 | 45,433 | 2,671 | 305,013      | 13,386     | 169,696    | 488,095      |

注1 厚生年金の平成8年度以前は旧三共済を含まず、平成13年度以前は旧農林年金を含まない。

注2 平成14年度の被用者年金制度計及び公的年金制度全体には、旧農林年金分(統合前に係る分)を含めてあるため、各制度の値の和と一致しない。

○図表 2-1-12 運用損益分を除いた単年度収支残

| 年度 | 厚生年金     |      |       | 国共済     | 地共済      | 私学共済  | 国民年金       |            | 公的年金<br>制度全体 |
|----|----------|------|-------|---------|----------|-------|------------|------------|--------------|
|    |          | 旧三共済 | 旧農林年金 |         |          |       | 国民年金<br>勘定 | 基礎年金<br>勘定 |              |
| 平成 | 億円       | 億円   | 億円    | 億円      | 億円       | 億円    | 億円         | 億円         | 億円           |
| 7  | 17,492   | 150  | △ 69  | △ 363   | 5,239    | 390   | 3,606      | 285        | 26,730       |
| 8  | 10,320   | 170  | △ 221 | △ 416   | 5,906    | 357   | 6,148      | △ 1,038    | 21,225       |
| 9  | 17,273   |      | △ 274 | △ 129   | 6,225    | 336   | 2,747      | △ 1,559    | 24,850       |
| 10 | △ 1,363  |      | △ 491 | △ 300   | 4,468    | 217   | 1,503      | △ 1,354    | 2,678        |
| 11 | △ 7,804  |      | △ 559 | △ 778   | 2,878    | 107   | 1,717      | △ 1,181    | △ 5,619      |
| 12 | △ 22,288 |      | △ 664 | 297     | △ 168    | △ 22  | 698        | 136        | △ 22,010     |
| 13 | △ 33,540 |      | △ 874 | △ 1,498 | △ 112    | △ 106 | △ 1,079    | 1,191      | △ 36,018     |
| 14 | △ 28,064 |      |       | △ 1,841 | △ 1,478  | △ 99  | △ 2,382    | 2,036      | △ 32,322     |
| 15 | △ 26,264 |      |       | △ 2,093 | △ 3,111  | △ 192 | △ 2,023    | 1,535      | △ 32,212     |
| 16 | △ 13,766 |      |       | △ 1,902 | △ 5,141  | △ 267 | △ 2,750    | 121        | △ 23,719     |
| 17 | △ 71,123 |      |       | △ 1,521 | △ 6,082  | △ 252 | △ 6,967    | △ 1,430    | △ 87,375     |
| 18 | △ 48,853 |      |       | △ 2,031 | △ 6,468  | △ 228 | △ 5,987    | 66         | △ 63,500     |
| 19 | △ 47,057 |      |       | △ 2,726 | △ 7,409  | △ 11  | △ 6,196    | 1,184      | △ 62,215     |
| 20 | △ 48,148 |      |       | △ 3,457 | △ 9,712  | △ 232 | △ 7,029    | 75         | △ 68,504     |
| 21 | △ 45,333 |      |       | △ 3,300 | △ 10,036 | △ 103 | △ 2,254    | 2,963      | △ 58,063     |
| 22 | △ 63,044 |      |       | △ 3,266 | △ 9,660  | △ 282 | 2,388      | 5,553      | △ 68,311     |

注1 決算の収入から「運用収入」、厚生年金・国民年金(国民年金勘定)の「積立金より受入」、基礎年金勘定の「前年度剰余金受入」を除いた額と、決算の支出から国共済・地共済・私学共済の「有価証券売却損等」を除いた額の差を、「運用損益分を除いた単年度収支残」としている。

注2 厚生年金の収支状況は、厚生年金基金が代行している部分を含まない。

注3 厚生年金の平成8年度以前は旧三共済を含まず、平成13年度以前は旧農林年金を含まない。

○図表 2-1-13 積立金の推移

| 年度末  | 厚生年金                     |        |        | 国共済                | 地共済                  | 私学共済               | 被用者年金<br>制度計             | 国民年金               |            | 公的年金<br>制度全体             |
|------|--------------------------|--------|--------|--------------------|----------------------|--------------------|--------------------------|--------------------|------------|--------------------------|
|      | 旧三共済                     |        | 旧農林年金  |                    |                      |                    |                          | 国民年金<br>勘定         | 基礎年金<br>勘定 |                          |
|      | 億円                       | 億円     | 億円     | 億円                 | 億円                   | 億円                 | 億円                       | 億円                 | 億円         | 億円                       |
| 平成 7 | 1,118,111                | 23,475 | 18,677 | 72,693             | 288,406              | 24,268             | 1,545,630                | 69,516             | 7,246      | 1,622,392                |
| 8    | 1,184,579                | 25,007 | 19,236 | 75,782             | 305,220              | 25,611             | 1,635,435                | 78,493             | 7,246      | 1,721,175                |
| 9    | 1,257,560                |        | 19,737 | 78,942             | 322,455              | 26,943             | 1,705,637                | 84,683             | 7,246      | 1,797,566                |
| 10   | 1,308,446                |        | 19,961 | 81,337             | 337,358              | 28,150             | 1,775,251                | 89,619             | 7,246      | 1,872,117                |
| 11   | 1,347,988                |        | 20,079 | 83,189             | 352,346              | 29,270             | 1,832,872                | 94,617             | 7,246      | 1,934,735                |
| 12   | 1,368,804                |        | 20,113 | 85,951             | 361,507              | 30,123             | 1,866,498                | 98,208             | 7,246      | 1,971,952                |
| 13   | 1,373,934<br>[1,345,967] |        | 19,746 | 86,500<br>[87,070] | 369,267              | 30,800             | 1,880,246                | 99,490<br>[97,348] | 7,246      | 1,986,982                |
| 14   | 1,377,023<br>[1,320,717] |        |        | 86,747<br>[86,986] | 374,658<br>[365,720] | 31,368<br>[31,625] | 1,869,796<br>[1,805,048] | 99,108<br>[94,698] | 7,246      | 1,976,150<br>[1,906,992] |
| 15   | 1,374,110<br>[1,359,151] |        |        | 86,938<br>[88,175] | 378,297<br>[379,605] | 31,802<br>[32,242] | 1,871,147<br>[1,859,173] | 98,612<br>[97,160] | 7,246      | 1,977,004<br>[1,963,580] |
| 16   | 1,376,619<br>[1,382,468] |        |        | 87,034<br>[88,564] | 380,619<br>[386,664] | 32,102<br>[33,079] | 1,876,374<br>[1,890,775] | 96,991<br>[97,151] | 7,246      | 1,980,611<br>[1,995,171] |
| 17   | 1,324,020<br>[1,403,465] |        |        | 87,580<br>[91,690] | 388,082<br>[412,945] | 33,180<br>[34,730] | 1,832,862<br>[1,942,829] | 91,514<br>[96,766] | 7,246      | 1,931,622<br>[2,046,842] |
| 18   | 1,300,980<br>[1,397,509] |        |        | 88,137<br>[92,162] | 397,071<br>[420,246] | 33,834<br>[35,563] | 1,820,022<br>[1,945,481] | 87,660<br>[93,828] | 7,246      | 1,914,928<br>[2,046,554] |
| 19   | 1,270,568<br>[1,301,810] |        |        | 88,142<br>[88,958] | 401,527<br>[398,579] | 34,677<br>[34,328] | 1,794,914<br>[1,823,675] | 82,692<br>[84,674] | 7,246      | 1,884,852<br>[1,915,595] |
| 20   | 1,240,188<br>[1,166,496] |        |        | 85,711<br>[82,145] | 395,200<br>[362,067] | 34,366<br>[31,523] | 1,755,465<br>[1,642,231] | 76,920<br>[71,885] | 7,246      | 1,839,631<br>[1,721,362] |
| 21   | 1,195,052<br>[1,207,568] |        |        | 83,658<br>[83,230] | 389,255<br>[376,161] | 34,073<br>[33,963] | 1,702,038<br>[1,700,921] | 74,822<br>[75,079] | 7,246      | 1,784,106<br>[1,783,247] |
| 22   | 1,134,604<br>[1,141,532] |        |        | 81,822<br>[80,942] | 383,658<br>[366,356] | 34,083<br>[33,733] | 1,634,167<br>[1,622,563] | 77,333<br>[77,394] | 7,246      | 1,718,746<br>[1,707,203] |

- 注1 厚生年金の平成8年度以前は旧三共済を含まず、平成13年度以前は旧農林年金を含まない。また、厚生年金基金が代行している部分の積立金を含まない。
- 注2 []内は、時価ベースである。
- 注3 厚生年金・国民年金の「時価ベース」は、旧年金福祉事業団から承継した資産に係る損益を含めて、年金積立金管理運用独立行政法人(17年度以前は旧年金資金運用基金)における市場運用分の運用実績を時価ベースで評価したものである。なお、承継資産に係る損益の厚生年金・国民年金への按分は、厚生年金・国民年金のそれぞれの積立金の元本平均残高の比率により行っている。
- 注4 国共済の時価ベースの積立金は、平成10年度末が82,883億円、11年度末が85,252億円、12年度末が87,227億円である。
- 注5 旧農林年金から厚生年金へ、平成14年度に1.58兆円、15年度に0.03兆円が移換されている。また、厚生年金には、平成15年度に3.50兆円、16年度に5.39兆円、17年度に3.46兆円、18年度に0.68兆円、19年度に0.56兆円、20年度に0.35兆円、21年度に0.19兆円、22年度に0.01兆円の解散厚生年金基金等徴収金がある。

○図表 2-1-16 基礎年金交付金の推移《確定値ベース》

| 年度 | 厚生年金   |       |     | 国共済   | 地共済   | 私学共済 | 被用者年金<br>制度計 | 国民年金<br>(国民年金勘定) | 公的年金<br>制度全体 |
|----|--------|-------|-----|-------|-------|------|--------------|------------------|--------------|
|    | 旧三共済   | 旧農林年金 |     |       |       |      |              |                  |              |
| 平成 | 億円     | 億円    | 億円  | 億円    | 億円    | 億円   | 億円           | 億円               | 億円           |
| 7  | 25,986 | 2,347 | 615 | 2,167 | 5,206 | 297  | 36,619       | 31,507           | 68,126       |
| 8  | 25,392 | 2,416 | 605 | 2,187 | 5,158 | 287  | 36,045       | 30,319           | 66,364       |
| 9  | 26,451 |       | 587 | 2,184 | 5,079 | 276  | 34,977       | 29,018           | 63,995       |
| 10 | 25,804 |       | 577 | 2,178 | 5,033 | 265  | 33,857       | 28,132           | 61,989       |
| 11 | 24,750 |       | 562 | 2,128 | 4,916 | 253  | 32,610       | 26,941           | 59,551       |
| 12 | 24,234 |       | 547 | 2,077 | 4,724 | 239  | 31,822       | 25,588           | 57,410       |
| 13 | 23,059 |       | 527 | 2,004 | 4,509 | 228  | 30,328       | 24,251           | 54,579       |
| 14 | 22,638 |       |     | 1,925 | 4,325 | 218  | 29,193       | 22,916           | 52,110       |
| 15 | 21,428 |       |     | 1,825 | 4,026 | 204  | 27,484       | 21,378           | 48,862       |
| 16 | 20,145 |       |     | 1,729 | 3,770 | 192  | 25,836       | 19,957           | 45,793       |
| 17 | 18,923 |       |     | 1,638 | 3,563 | 180  | 24,304       | 18,583           | 42,887       |
| 18 | 17,395 |       |     | 1,543 | 3,350 | 168  | 22,455       | 17,197           | 39,653       |
| 19 | 16,241 |       |     | 1,438 | 3,181 | 147  | 21,007       | 15,896           | 36,903       |
| 20 | 15,178 |       |     | 1,344 | 2,963 | 135  | 19,620       | 14,766           | 34,385       |
| 21 | 15,244 |       |     | 1,247 | 2,781 | 123  | 19,395       | 13,765           | 33,160       |
| 22 | 13,864 |       |     | 1,150 | 2,559 | 112  | 17,685       | 12,358           | 30,043       |

注1 厚生年金の平成8年度以前は旧三共済を含まず、平成13年度以前は旧農林年金を含まない。

注2 平成9年度の被用者年金制度計及び公的年金制度全体の額は、旧三共済の平成9年2月分、3月分の給付に係る基礎年金交付金の確定値(410億円)を含む。同様に、14年度の額は旧農林年金分(87億円)を含む。

○図表 2-1-17 基礎年金拠出金の推移《確定値ベース》(特別国庫負担分を除く)

| 年度 | 厚生年金    |       |       | 国共済   | 地共済    | 私学共済  | 被用者年金<br>制度計 | 国民年金<br>(国民年金勘定) | 公的年金<br>制度全体 |
|----|---------|-------|-------|-------|--------|-------|--------------|------------------|--------------|
|    | 旧三共済    | 旧農林年金 |       |       |        |       |              |                  |              |
| 平成 | 億円      | 億円    | 億円    | 億円    | 億円     | 億円    | 億円           | 億円               | 億円           |
| 7  | 69,866  | 1,239 | 1,084 | 2,660 | 7,425  | 815   | 83,089       | 21,777           | 104,865      |
| 8  | 73,927  | 1,292 | 1,131 | 2,792 | 7,800  | 862   | 87,804       | 23,061           | 110,865      |
| 9  | 79,669  |       | 1,164 | 2,945 | 8,216  | 912   | 93,132       | 23,619           | 116,751      |
| 10 | 84,991  |       | 1,224 | 3,144 | 8,786  | 984   | 99,129       | 24,995           | 124,124      |
| 11 | 89,002  |       | 1,281 | 3,329 | 9,280  | 1,047 | 103,939      | 26,848           | 130,787      |
| 12 | 93,633  |       | 1,338 | 3,569 | 9,705  | 1,116 | 109,361      | 27,946           | 137,307      |
| 13 | 97,575  |       | 1,380 | 3,719 | 10,088 | 1,175 | 113,937      | 29,319           | 143,255      |
| 14 | 102,730 |       |       | 3,915 | 10,635 | 1,259 | 118,780      | 30,873           | 149,653      |
| 15 | 106,850 |       |       | 4,009 | 10,905 | 1,319 | 123,082      | 31,610           | 154,692      |
| 16 | 110,314 |       |       | 4,087 | 11,074 | 1,376 | 126,852      | 32,192           | 159,044      |
| 17 | 115,207 |       |       | 4,190 | 11,300 | 1,443 | 132,139      | 32,276           | 164,416      |
| 18 | 119,991 |       |       | 4,300 | 11,571 | 1,524 | 137,385      | 32,477           | 169,862      |
| 19 | 126,829 |       |       | 4,428 | 11,844 | 1,602 | 144,702      | 32,172           | 176,874      |
| 20 | 133,101 |       |       | 4,613 | 12,170 | 1,694 | 151,578      | 32,486           | 184,065      |
| 21 | 140,933 |       |       | 4,949 | 12,881 | 1,835 | 160,598      | 33,400           | 193,998      |
| 22 | 143,640 |       |       | 5,027 | 12,991 | 1,894 | 163,552      | 32,849           | 196,401      |

注1 厚生年金の平成8年度以前は旧三共済を含まず、平成13年度以前は旧農林年金を含まない。

注2 平成9年度の被用者年金制度計及び公的年金制度全体の額は、旧三共済の存続組合等が平成9年2月分、3月分の給付に係る負担分として納付する額(226億円)を含む。同様に、平成14年度の額は旧農林年金分(242億円)を含む。

○図表 2-1-18 基礎年金給付費と基礎年金相当給付費の合計額、特別国庫負担額、  
金拠出金算定対象者数等の推移

○確定値ベース

| 年度 | 基礎年金給<br>付費と基礎<br>年金相当給<br>付費の合計<br>額 | 特別国庫<br>負担額 | 保険料・拠<br>出金算定対<br>象額 | 基礎年金<br>拠出金<br>単価 | 基礎年金拠出金算定対象者数 |        |       |       |       |       |      |        |
|----|---------------------------------------|-------------|----------------------|-------------------|---------------|--------|-------|-------|-------|-------|------|--------|
|    |                                       |             |                      |                   | 合計            | 厚生年金   |       | 国共済   | 地共済   | 私学共済  | 国民年金 |        |
|    |                                       |             |                      |                   |               | 旧三共済   | 旧農林年金 |       |       |       |      |        |
|    | ①                                     | ②           | ①-②                  | (①-②)/③/12        | ③             |        |       |       |       |       |      |        |
| 平成 | 億円                                    | 億円          | 億円                   | 円                 | 千人            | 千人     | 千人    | 千人    | 千人    | 千人    | 千人   | 千人     |
| 7  | 109,779                               | 4,914       | 104,865              | 14,111            | 61,928        | 41,259 | 731   | 640   | 1,571 | 4,385 | 481  | 12,860 |
| 8  | 115,772                               | 4,907       | 110,865              | 14,972            | 61,709        | 41,149 | 719   | 630   | 1,554 | 4,341 | 480  | 12,836 |
| 9  | 121,639                               | 4,889       | 116,751              | 15,765            | 61,713        | 42,232 |       | 615   | 1,557 | 4,343 | 482  | 12,485 |
| 10 | 129,066                               | 4,942       | 124,124              | 16,988            | 60,887        | 41,691 |       | 600   | 1,542 | 4,310 | 483  | 12,261 |
| 11 | 135,656                               | 4,869       | 130,787              | 18,024            | 60,469        | 41,149 |       | 592   | 1,539 | 4,291 | 484  | 12,413 |
| 12 | 142,140                               | 4,833       | 137,307              | 19,149            | 59,753        | 40,747 |       | 582   | 1,553 | 4,224 | 485  | 12,162 |
| 13 | 148,173                               | 4,918       | 143,255              | 20,149            | 59,249        | 40,356 |       | 571   | 1,538 | 4,172 | 486  | 12,126 |
| 14 | 154,563                               | 4,910       | 149,653              | 21,450            | 58,142        | 40,006 |       | (565) | 1,521 | 4,132 | 489  | 11,994 |
| 15 | 159,559                               | 4,868       | 154,692              | 22,239            | 57,965        | 40,038 |       |       | 1,502 | 4,086 | 494  | 11,845 |
| 16 | 163,886                               | 4,842       | 159,044              | 22,924            | 57,816        | 40,102 |       |       | 1,486 | 4,026 | 500  | 11,702 |
| 17 | 169,246                               | 4,830       | 164,416              | 22,986            | 59,606        | 41,766 |       |       | 1,519 | 4,097 | 523  | 11,701 |
| 18 | 174,536                               | 4,674       | 169,862              | 24,626            | 57,480        | 40,604 |       |       | 1,455 | 3,916 | 516  | 10,990 |
| 19 | 181,499                               | 4,625       | 176,874              | 25,731            | 57,283        | 41,075 |       |       | 1,434 | 3,836 | 519  | 10,419 |
| 20 | 188,821                               | 4,756       | 184,065              | 27,057            | 56,690        | 40,994 |       |       | 1,421 | 3,748 | 522  | 10,005 |
| 21 | 197,400                               | 3,402       | 193,998              | 29,212            | 55,342        | 40,204 |       |       | 1,412 | 3,675 | 523  | 9,528  |
| 22 | 199,701                               | 3,300       | 196,401              | 29,947            | 54,651        | 39,970 |       |       | 1,399 | 3,615 | 527  | 9,141  |

注1 厚生年金の平成8年度以前は旧三共済を含まず、平成13年度以前は旧農林年金を含まない。

注2 ( )内は、旧農林年金が納付する額を算定するため人数換算された拠出金算定対象者数であり、厚生年金の内数である。

注3 平成17年度は第3号被保険者の特例届出の措置が講じられたため、拠出金算定対象者数が1,472千人増加している。

## 【2 被保険者の現状及び推移】

○図表 2-2-1 被保険者数の推移

| 年度末 | 厚生年金   |       |     | 国共済   | 地共済   | 私学共済 | 被用者年金<br>制度計 | 公的年金<br>制度全体 | 国民年金   |        |
|-----|--------|-------|-----|-------|-------|------|--------------|--------------|--------|--------|
|     | 旧三共済   | 旧農林年金 | 第1号 |       |       |      |              |              | 第3号    |        |
|     |        |       |     |       |       |      |              |              |        |        |
| 平成  | 千人     | 千人    | 千人  | 千人    | 千人    | 千人   | 千人           | 千人           | 千人     | 千人     |
| 7   | 32,808 | 467   | 509 | 1,125 | 3,339 | 400  | 38,648       | 69,952       | 19,104 | 12,201 |
| 8   | 32,999 | 463   | 501 | 1,124 | 3,336 | 401  | 38,824       | 70,195       | 19,356 | 12,015 |
| 9   | 33,468 |       | 490 | 1,122 | 3,326 | 401  | 38,807       | 70,344       | 19,589 | 11,949 |
| 10  | 32,957 |       | 482 | 1,111 | 3,306 | 403  | 38,258       | 70,502       | 20,426 | 11,818 |
| 11  | 32,481 |       | 475 | 1,106 | 3,288 | 404  | 37,755       | 70,616       | 21,175 | 11,686 |
| 12  | 32,192 |       | 467 | 1,119 | 3,239 | 406  | 37,423       | 70,491       | 21,537 | 11,531 |
| 13  | 31,576 |       | 459 | 1,110 | 3,207 | 408  | 36,760       | 70,168       | 22,074 | 11,334 |
| 14  | 32,144 |       |     | 1,102 | 3,181 | 429  | 36,856       | 70,460       | 22,368 | 11,236 |
| 15  | 32,121 |       |     | 1,091 | 3,151 | 434  | 36,798       | 70,292       | 22,400 | 11,094 |
| 16  | 32,491 |       |     | 1,086 | 3,111 | 442  | 37,130       | 70,293       | 22,170 | 10,993 |
| 17  | 33,022 |       |     | 1,082 | 3,069 | 448  | 37,621       | 70,447       | 21,903 | 10,922 |
| 18  | 33,794 |       |     | 1,076 | 3,035 | 458  | 38,363       | 70,383       | 21,230 | 10,789 |
| 19  | 34,570 |       |     | 1,058 | 2,992 | 464  | 39,084       | 70,066       | 20,354 | 10,628 |
| 20  | 34,445 |       |     | 1,053 | 2,946 | 472  | 38,916       | 69,358       | 20,007 | 10,436 |
| 21  | 34,248 |       |     | 1,044 | 2,908 | 478  | 38,677       | 68,738       | 19,851 | 10,209 |
| 22  | 34,411 |       |     | 1,055 | 2,878 | 485  | 38,829       | 68,258       | 19,382 | 10,046 |

注1 国民年金の第1号被保険者数には任意加入被保険者を含む。

注2 厚生年金の平成8年度以前は旧三共済を含まず、平成13年度以前は旧農林年金を含まない。

○図表 2-2-7 1人当たり標準報酬額(月額)の推移

| 年度<br>〈年度末〉 | 厚生年金      |           | 国共済       | 地共済       | 私学共済      |
|-------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
|             |           | 旧農林年金     |           |           |           |
| 平成          | 円         | 円         | 円         | 円         | 円         |
| 7           | <307,530> | <277,620> | <379,903> | <424,225> | <343,239> |
| 8           | <311,344> | <282,375> | <385,459> | <432,775> | <348,348> |
| 9           | <316,881> | <286,727> | <390,090> | <441,521> | <353,682> |
| 10          | <316,186> | <289,986> | <396,612> | <448,151> | <357,706> |
| 11          | <315,353> | <292,577> | <401,956> | <453,615> | <360,832> |
| 12          | <318,688> | <295,153> | <410,007> | <458,066> | <366,349> |
| 13          | <318,679> | <296,925> | <412,231> | <461,583> | <367,677> |
| 14          | <314,489> |           | <406,373> | <456,830> | <369,995> |
| 15          | 375,064   |           | 542,694   | 602,387   | 498,031   |
|             | <313,893> |           | <402,646> | <453,265> | <370,972> |
| 16          | 374,812   |           | 543,117   | 603,578   | 493,099   |
|             | <313,679> |           | <406,543> | <454,605> | <369,692> |
| 17          | 374,238   |           | 545,501   | 602,790   | 490,336   |
|             | <313,204> |           | <408,832> | <454,555> | <369,808> |
| 18          | 373,849   |           | 545,429   | 599,560   | 486,689   |
|             | <312,703> |           | <409,598> | <450,818> | <368,611> |
| 19          | 372,460   |           | 546,141   | 594,926   | 484,458   |
|             | <312,258> |           | <413,158> | <447,103> | <368,707> |
| 20          | 370,810   |           | 548,284   | 587,220   | 482,658   |
|             | <312,813> |           | <415,247> | <440,923> | <369,017> |
| 21          | 359,146   |           | 539,116   | 568,361   | 479,000   |
|             | <304,173> |           | <410,279> | <435,521> | <368,098> |
| 22          | 358,838   |           | 532,662   | 556,707   | 475,929   |
|             | <305,715> |           | <408,814> | <431,808> | <367,359> |

注1 平成15年度以降は「総報酬ベース」の数値であり、標準報酬総額(総報酬ベース)の年度間平均(被保険者1人当たり月額)である。

また、〈〉内は「標準報酬月額ベース」の数値であり、年度末における標準報酬月額の被保険者1人当たり平均である。

注2 厚生年金の平成8年度以前は旧三共済を含まず、平成13年度以前は旧農林年金を含まない。

注3 地共済の1人当たり標準報酬月額は、「平均給料月額」を標準報酬月額ベースに換算した場合の額である。



○図表 2-2-8 標準報酬総額の推移

| 年度   | 厚生年金        |          |          | 国共済      | 地共済       | 私学共済     | 被用者年金<br>制度計 |
|------|-------------|----------|----------|----------|-----------|----------|--------------|
|      | 旧三共済        |          | 旧農林年金    |          |           |          |              |
|      | 億円          | 億円       | 億円       | 億円       | 億円        | 億円       | 億円           |
| 平成 7 | <1,215,248> | <23,136> | <16,873> | <50,431> | <168,207> | <16,431> | <1,490,326>  |
| 8    | <1,235,867> | <23,431> | <16,986> | <51,314> | <171,635> | <16,745> | <1,515,977>  |
| 9    | <1,281,286> |          | <16,898> | <51,893> | <174,521> | <17,004> | <1,541,603>  |
| 10   | <1,272,631> |          | <16,787> | <52,368> | <176,293> | <17,279> | <1,535,358>  |
| 11   | <1,247,826> |          | <16,714> | <52,854> | <177,712> | <17,500> | <1,512,606>  |
| 12   | <1,240,660> |          | <16,598> | <54,319> | <176,426> | <17,777> | <1,505,781>  |
| 13   | <1,231,930> |          | <16,410> | <54,583> | <176,435> | <18,016> | <1,497,374>  |
| 14   | <1,233,692> |          |          | <54,065> | <175,486> | <19,005> | <1,482,247>  |
| 15   | 1,458,725   |          |          | 71,088   | 228,236   | 26,076   | 1,784,125    |
|      | <1,219,199> |          |          | <52,860> | <171,616> | <19,275> | <1,462,950>  |
| 16   | 1,468,506   |          |          | 70,717   | 225,979   | 26,263   | 1,791,464    |
|      | <1,226,226> |          |          | <52,582> | <169,031> | <19,572> | <1,467,412>  |
| 17   | 1,487,083   |          |          | 70,654   | 222,616   | 26,495   | 1,806,849    |
|      | <1,242,451> |          |          | <52,733> | <167,237> | <19,845> | <1,482,266>  |
| 18   | 1,516,357   |          |          | 70,337   | 218,829   | 26,827   | 1,832,350    |
|      | <1,266,562> |          |          | <52,631> | <164,165> | <20,189> | <1,503,546>  |
| 19   | 1,548,385   |          |          | 69,827   | 213,998   | 27,109   | 1,859,319    |
|      | <1,295,378> |          |          | <52,262> | <160,286> | <20,486> | <1,528,412>  |
| 20   | 1,560,260   |          |          | 69,815   | 207,916   | 27,462   | 1,865,454    |
|      | <1,311,201> |          |          | <52,350> | <155,580> | <20,846> | <1,539,977>  |
| 21   | 1,492,011   |          |          | 68,463   | 198,596   | 27,600   | 1,786,670    |
|      | <1,271,939> |          |          | <51,945> | <151,471> | <21,094> | <1,496,450>  |
| 22   | 1,492,051   |          |          | 67,137   | 192,503   | 27,788   | 1,779,480    |
|      | <1,266,338> |          |          | <51,392> | <148,500> | <21,331> | <1,487,561>  |

注 1 年度間累計の額である。

注 2 平成15年度以降は「総報酬ベース」の数値である。また、&lt;&gt;内は「標準報酬月額ベース」の数値である。

注 3 厚生年金の平成8年度以前は旧三共済を含まず、平成13年度以前は旧農林年金を含まない。

注 4 地共済は給料総額を標準報酬月額ベースに換算した場合の総額である。

## 【3 受給権者の現状及び推移】

○図表 2-3-1 受給権者数の推移

| 年度末  | 厚生年金   |        |       | 国共済   | 地共済   | 私学共済  | 国民年金<br>新法基礎年金と<br>旧法国民年金 |
|------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|---------------------------|
|      | 旧三共済   | 旧農林年金  |       |       |       |       |                           |
|      | 千人     | 千人     | 千人    | 千人    | 千人    | 千人    | 千人                        |
| 平成 7 | 14,448 | 633    | 266.0 | 778   | 1,747 | 173.5 | 15,152                    |
| 8    | 15,239 | 632    | 278.2 | 794   | 1,793 | 184.6 | 16,010                    |
| 9    |        | 16,813 | 290.4 | 810   | 1,848 | 193.5 | 16,987                    |
| 10   |        | 17,679 | 302.8 | 823   | 1,898 | 202.5 | 17,871                    |
| 11   |        | 18,571 | 314.9 | 835   | 1,942 | 212.7 | 18,795                    |
| 12   |        | 19,529 | 330.7 | 862   | 1,984 | 223.8 | 19,737                    |
| 13   |        | 20,559 | 348.1 | 883   | 2,049 | 235.3 | 20,669                    |
| 14   |        | 21,980 |       | 906   | 2,109 | 245.9 | 21,653                    |
| 15   |        | 23,148 |       | 933   | 2,174 | 258.2 | 22,544                    |
| 16   |        | 24,233 |       | 962   | 2,240 | 271.0 | 23,431                    |
| 17   |        | 25,110 |       | 984   | 2,289 | 280.8 | 24,393                    |
| 18   |        | 26,155 |       | 1,009 | 2,345 | 293.4 | 25,420                    |
| 19   |        | 27,502 |       | 1,046 | 2,436 | 309.4 | 26,387                    |
| 20   |        | 29,072 |       | 1,094 | 2,543 | 328.7 | 27,433                    |
| 21   |        | 30,581 |       | 1,139 | 2,645 | 347.8 | 28,286                    |
| 22   |        | 31,982 |       | 1,178 | 2,742 | 370.4 | 28,857                    |

注1 厚生年金の平成8年度以前は旧三共済を含まず、平成13年度以前は旧農林年金を含まない。

注2 国民年金の新法基礎年金には、第1号被保険者期間がない者も含まれている。

○図表 2-3-2 受給者数の推移

| 年度末 | 厚生年金   |      |       | 国共済   | 地共済   | 私学共済  | 国民年金<br>新法基礎年金と<br>旧法国民年金 |
|-----|--------|------|-------|-------|-------|-------|---------------------------|
|     |        | 旧三共済 | 旧農林年金 |       |       |       |                           |
| 平成  | 千人     | 千人   | 千人    | 千人    | 千人    | 千人    | 千人                        |
| 7   | 13,621 | -    | 257.7 | -     | 1,680 | 157.8 | 14,751                    |
| 8   | 14,324 | -    | 270.2 | -     | 1,729 | 167.6 | 15,611                    |
| 9   | 15,778 |      | 282.7 | -     | 1,783 | 176.7 | 16,585                    |
| 10  | 16,503 |      | 294.1 | -     | 1,833 | 185.9 | 17,469                    |
| 11  | 17,233 |      | 305.3 | 811   | 1,875 | 195.8 | 18,362                    |
| 12  | 18,074 |      | 319.6 | 837   | 1,913 | 206.7 | 19,304                    |
| 13  | 19,005 |      | 335.8 | 857   | 1,970 | 217.3 | 20,238                    |
| 14  | 20,315 |      |       | 879   | 2,029 | 221.8 | 21,222                    |
| 15  | 21,369 |      |       | 906   | 2,088 | 234.5 | 22,111                    |
| 16  | 22,334 |      |       | 933   | 2,152 | 247.3 | 22,997                    |
| 17  | 23,156 |      |       | 956   | 2,206 | 259.2 | 23,954                    |
| 18  | 24,043 |      |       | 980   | 2,253 | 272.6 | 24,968                    |
| 19  | 25,226 |      |       | 1,016 | 2,325 | 287.0 | 25,925                    |
| 20  | 26,684 |      |       | 1,059 | 2,426 | 305.2 | 26,949                    |
| 21  | 28,141 |      |       | 1,105 | 2,520 | 322.9 | 27,787                    |
| 22  | 29,433 |      |       | 1,144 | 2,613 | 344.7 | 28,343                    |

注1 厚生年金の平成8年度以前は旧三共済を含まず、平成13年度以前は旧農林年金を含まない。

注2 国民年金の新法基礎年金には、第1号被保険者期間がない者も含まれている。

○図表 2-3-6 受給権者の年金総額の推移

| 年度末 | 厚生年金    | 国共済    | 地共済    | 私学共済  | 被用者年<br>金制度計 | 国民年金<br>新法基礎年金と<br>旧法国民年金 | 公的年金<br>制度全体 |
|-----|---------|--------|--------|-------|--------------|---------------------------|--------------|
| 平成  | 億円      | 億円     | 億円     | 億円    | 億円           | 億円                        | 億円           |
| 7   | 183,438 | 16,845 | 40,053 | 1,922 | 242,258      | 79,731                    | 321,989      |
| 8   | 189,722 | 16,935 | 40,437 | 2,043 | 249,137      | 86,324                    | 335,461      |
| 9   | 197,655 | 17,013 | 41,059 | 2,117 | 257,845      | 93,767                    | 351,612      |
| 10  | 207,943 | 17,290 | 42,287 | 2,232 | 269,753      | 102,532                   | 372,285      |
| 11  | 216,023 | 17,331 | 42,901 | 2,327 | 278,583      | 110,700                   | 389,282      |
| 12  | 223,292 | 17,557 | 43,257 | 2,432 | 286,539      | 118,360                   | 404,898      |
| 13  | 228,204 | 17,534 | 43,789 | 2,497 | 292,025      | 125,830                   | 417,854      |
| 14  | 239,806 | 17,656 | 44,435 | 2,587 | 304,484      | 133,598                   | 438,082      |
| 15  | 246,729 | 17,690 | 44,892 | 2,675 | 311,987      | 139,433                   | 451,420      |
| 16  | 249,103 | 17,588 | 45,006 | 2,729 | 314,428      | 145,923                   | 460,351      |
| 17  | 253,435 | 17,621 | 45,471 | 2,803 | 319,330      | 153,501                   | 472,831      |
| 18  | 256,032 | 17,634 | 45,785 | 2,888 | 322,340      | 161,000                   | 483,339      |
| 19  | 258,382 | 17,588 | 46,177 | 2,946 | 325,093      | 168,545                   | 493,638      |
| 20  | 264,550 | 17,725 | 47,179 | 3,035 | 332,490      | 176,689                   | 509,179      |
| 21  | 270,481 | 17,919 | 48,274 | 3,142 | 339,816      | 183,568                   | 523,385      |
| 22  | 274,359 | 17,852 | 48,727 | 3,208 | 344,146      | 188,595                   | 532,741      |

注1 厚生年金の平成13年度以前は旧農林年金を含まない。また、平成8年度以前についても旧三共済が含まれている。

注2 国民年金の新法基礎年金には、第1号被保険者期間がない者に係る分も含まれている。

○図表 2-3-11 平均年金月額推移 — 老齢・退年相当 —

## ○老齢基礎年金分を含む

| 年度末 | 厚生年金    | 国共済     | 地共済     | 私学共済    | 国民年金<br>新法基礎年金と<br>旧法国民年金 |
|-----|---------|---------|---------|---------|---------------------------|
| 平成  | 円       | 円       | 円       | 円       | 円                         |
| 7   | 171,478 | 216,304 | 232,691 | 218,302 | 44,656                    |
| 8   | 171,793 | 216,147 | 232,008 | 218,014 | 45,851                    |
| 9   | 172,168 | 215,781 | 231,810 | 217,599 | 46,982                    |
| 10  | 174,906 | 219,176 | 234,638 | 220,922 | 48,828                    |
| 11  | 176,161 | 220,062 | 235,604 | 221,772 | 50,047                    |
| 12  | 175,865 | 219,605 | 234,931 | 221,343 | 50,918                    |
| 13  | 172,795 | 217,058 | 232,333 | 216,495 | 51,622                    |
| 14  | 171,892 | 216,062 | 230,953 | 215,017 | 52,233                    |
| 15  | 169,658 | 213,447 | 227,775 | 212,121 | 52,261                    |
| 16  | 165,446 | 209,288 | 223,064 | 207,096 | 52,514                    |
| 17  | 165,083 | 209,025 | 222,659 | 207,494 | 52,963                    |
| 18  | 162,772 | 207,965 | 220,875 | 206,467 | 53,202                    |
| 19  | 158,104 | 203,697 | 215,310 | 200,803 | 53,552                    |
| 20  | 155,766 | 200,860 | 212,228 | 197,468 | 53,936                    |
| 21  | 153,809 | 199,392 | 209,745 | 195,534 | 54,258                    |
| 22  | 150,406 | 195,812 | 204,688 | 191,642 | 54,529                    |

注1 厚生年金の平成8年度以前は、旧三共済分は含むが、旧三共済に係る基礎年金額は含まない。また、平成13年度以前は旧農林年金を含まない。

注2 国民年金の新法基礎年金には、第1号被保険者期間がない者に係る分も含まれている。

## ○老齢基礎年金分を含まない

| 年度末 | 厚生年金    | 国共済     | 地共済     | 私学共済    |
|-----|---------|---------|---------|---------|
| 平成  | 円       | 円       | 円       | 円       |
| 7   | 155,814 | 206,265 | 221,687 | 202,671 |
| 8   | 153,534 | 203,724 | 218,158 | 199,788 |
| 9   | 153,578 | 200,846 | 214,859 | 196,547 |
| 10  | 153,523 | 201,242 | 215,515 | 196,978 |
| 11  | 152,207 | 199,261 | 213,615 | 195,315 |
| 12  | 149,564 | 196,201 | 210,629 | 192,790 |
| 13  | 144,584 | 191,367 | 206,105 | 186,302 |
| 14  | 142,017 | 188,413 | 202,839 | 183,529 |
| 15  | 138,832 | 184,669 | 198,664 | 180,122 |
| 16  | 133,374 | 179,067 | 192,706 | 174,090 |
| 17  | 131,132 | 176,827 | 190,441 | 172,474 |
| 18  | 127,147 | 174,100 | 187,034 | 169,826 |
| 19  | 121,361 | 168,702 | 180,622 | 163,446 |
| 20  | 117,934 | 164,784 | 176,538 | 159,289 |
| 21  | 115,293 | 162,325 | 173,490 | 156,894 |
| 22  | 111,656 | 158,062 | 168,480 | 152,827 |

注 厚生年金の平成13年度以前は旧農林年金を含まない。

○図表 2-3-12 平均加入期間の推移

| 年度末 | 厚生年金 | 国共済 | 地共済 | 私学共済 | 国民年金              |
|-----|------|-----|-----|------|-------------------|
|     |      |     |     |      | 新法基礎年金と<br>旧法国民年金 |
| 平成  | 月    | 月   | 月   | 月    | 月                 |
| 7   | 347  | 410 | 405 | 353  | 241               |
| 8   | 350  | 410 | 405 | 355  | 251               |
| 9   | 354  | 411 | 407 | 357  | 260               |
| 10  | 357  | 412 | 408 | 360  | 268               |
| 11  | 360  | 414 | 408 | 362  | 276               |
| 12  | 364  | 413 | 410 | 366  | 284               |
| 13  | 367  | 416 | 410 | 368  | 292               |
| 14  | 371  | 417 | 411 | 371  | 300               |
| 15  | 374  | 418 | 413 | 374  | 307               |
| 16  | 377  | 419 | 414 | 376  | 314               |
| 17  | 380  | 420 | 415 | 378  | 322               |
| 18  | 382  | 421 | 416 | 381  | 329               |
| 19  | 385  | 422 | 418 | 382  | 336               |
| 20  | 388  | 423 | 419 | 384  | 342               |
| 21  | 391  | 424 | 420 | 385  | 348               |
| 22  | 394  | 425 | 421 | 387  | 353               |

注1 厚生年金の平成13年度以前は旧農林年金を含まない。

注2 国民年金の新法基礎年金には、第1号被保険者期間がない者に係る分も含まれている。

## 【4 財政指標の現状及び推移】

○以下の統計表については、付属資料の「長期時系列表－3」を参照のこと。

- ・図表 2-4-2 年金扶養比率の推移
- ・図表 2-4-6 総合費用率の推移
- ・図表 2-4-9 独自給付費用率の推移
- ・図表 2-4-12 収支比率の推移
- ・図表 2-4-13 積立比率の推移

## ○図表 2-4-5 年金種別費用率の推移

| 年度            | 厚生年金   |       |       | 国共済    |       |       |
|---------------|--------|-------|-------|--------|-------|-------|
|               | 老齢費用率  | 障害費用率 | 遺族費用率 | 老齢費用率  | 障害費用率 | 遺族費用率 |
| 平成            | %      | %     | %     | %      | %     | %     |
| 15            | 10.0   | 0.2   | 2.4   | 11.3   | 0.1   | 2.3   |
| 16            | 10.3   | 0.2   | 2.5   | 10.8   | 0.1   | 2.2   |
| 17            | 10.2   | 0.2   | 2.5   | 10.5   | 0.1   | 2.2   |
| 18            | 10.1   | 0.2   | 2.6   | 11.1   | 0.1   | 2.5   |
| 19            | 9.9    | 0.1   | 2.6   | 11.9   | 0.1   | 2.6   |
| 20            | 10.0   | 0.1   | 2.7   | 12.7   | 0.1   | 3.0   |
| 21            | 11.0   | 0.2   | 3.0   | 13.0   | 0.1   | 3.2   |
| 22            | 11.1   | 0.2   | 3.0   | 13.1   | 0.1   | 2.9   |
| (参考)標準報酬月額ベース |        |       |       |        |       |       |
| 14            | <11.5> | <0.2> | <2.8> | <14.5> | <0.1> | <2.9> |
| 15            | <12.0> | <0.2> | <2.9> | <15.1> | <0.2> | <3.1> |
| 16            | <12.3> | <0.2> | <3.0> | <14.5> | <0.1> | <3.0> |
| 17            | <12.2> | <0.2> | <3.0> | <14.0> | <0.1> | <3.0> |
| 18            | <12.1> | <0.2> | <3.1> | <14.9> | <0.2> | <3.3> |
| 19            | <11.9> | <0.2> | <3.1> | <15.9> | <0.2> | <3.5> |
| 20            | <11.9> | <0.2> | <3.2> | <16.9> | <0.2> | <4.0> |
| 21            | <12.9> | <0.2> | <3.5> | <17.2> | <0.2> | <4.2> |
| 22            | <13.1> | <0.2> | <3.6> | <17.1> | <0.2> | <3.8> |
| 年度            | 地共済    |       |       | 私学共済   |       |       |
|               | 老齢費用率  | 障害費用率 | 遺族費用率 | 老齢費用率  | 障害費用率 | 遺族費用率 |
| 平成            | %      | %     | %     | %      | %     | %     |
| 15            | 9.6    | 0.1   | 1.5   | 6.3    | 0.1   | 1.1   |
| 16            | 10.0   | 0.1   | 1.6   | 6.5    | 0.1   | 1.1   |
| 17            | 10.4   | 0.1   | 1.8   | 6.7    | 0.1   | 1.2   |
| 18            | 11.0   | 0.1   | 2.0   | 6.9    | 0.1   | 1.2   |
| 19            | 11.5   | 0.1   | 2.1   | 7.1    | 0.1   | 1.2   |
| 20            | 12.5   | 0.1   | 2.4   | 7.2    | 0.1   | 1.3   |
| 21            | 13.6   | 0.1   | 2.5   | 7.4    | 0.1   | 1.3   |
| 22            | 14.0   | 0.1   | 2.3   | 7.7    | 0.1   | 1.4   |
| (参考)標準報酬月額ベース |        |       |       |        |       |       |
| 14            | <11.6> | <0.1> | <1.8> | <8.3>  | <0.1> | <1.4> |
| 15            | <12.7> | <0.1> | <2.0> | <8.5>  | <0.1> | <1.5> |
| 16            | <13.3> | <0.1> | <2.1> | <8.8>  | <0.1> | <1.5> |
| 17            | <13.9> | <0.1> | <2.4> | <8.9>  | <0.1> | <1.6> |
| 18            | <14.6> | <0.2> | <2.6> | <9.2>  | <0.1> | <1.6> |
| 19            | <15.4> | <0.2> | <2.8> | <9.3>  | <0.1> | <1.6> |
| 20            | <16.8> | <0.2> | <3.2> | <9.4>  | <0.1> | <1.7> |
| 21            | <17.8> | <0.2> | <3.3> | <9.7>  | <0.1> | <1.8> |
| 22            | <18.1> | <0.2> | <2.9> | <10.0> | <0.1> | <1.8> |

注1 「総報酬ベース」の数値である。また、<>内は「標準報酬月額ベース」の数値である。

注2 厚生年金は決算ベースであり、厚生年金基金による代行分を含まない。

○図表 2-4-7 総合費用率と保険料率の推移

| 年度 | 厚生年金   |        | 国共済    |        | 地共済    |        | 私学共済   |        |
|----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
|    | 総合費用率  | 保険料率   | 総合費用率  | 保険料率   | 総合費用率  | 保険料率   | 総合費用率  | 保険料率   |
| 平成 | %      | %      | %      | %      | %      | %      | %      | %      |
| 7  | <13.7> | 16.5   | <18.7> | 17.44  | <13.2> | 15.84  | <10.8> | 12.8   |
| 8  | <14.6> | 17.35  | <19.2> | 18.39  | <13.1> | 16.56  | <11.2> | 12.8   |
| 9  | <15.1> | 17.35  | <19.1> | 18.39  | <13.5> | 16.56  | <11.8> | 13.3   |
| 10 | <16.3> | 17.35  | <19.5> | 18.39  | <14.5> | 16.56  | <12.5> | 13.3   |
| 11 | <17.0> | 17.35  | <20.3> | 18.39  | <15.4> | 16.56  | <13.1> | 13.3   |
| 12 | <17.9> | 17.35  | <20.9> | 18.39  | <16.1> | 16.56  | <13.8> | 13.3   |
| 13 | <18.8> | 17.35  | <21.5> | 18.39  | <16.7> | 16.56  | <14.3> | 13.3   |
| 14 | <19.8> | 17.35  | <22.1> | 18.39  | <17.5> | 16.56  | <14.2> | 13.3   |
| 15 | 17.3   | 13.58  | 17.4   | 14.38  | 14.4   | 12.96  | 11.3   | 10.46  |
| 16 | 17.8   | 13.934 | 17.1   | 14.509 | 15.4   | 13.384 | 11.5   | 10.46  |
| 17 | 17.8   | 14.288 | 16.7   | 14.638 | 16.2   | 13.738 | 11.8   | 10.814 |
| 18 | 17.9   | 14.642 | 17.6   | 14.767 | 16.8   | 14.092 | 12.0   | 11.168 |
| 19 | 17.9   | 14.996 | 18.7   | 14.896 | 17.6   | 14.446 | 12.4   | 11.522 |
| 20 | 18.2   | 15.350 | 19.9   | 15.025 | 19.2   | 14.800 | 12.7   | 11.876 |
| 21 | 19.2   | 15.704 | 19.9   | 15.154 | 19.9   | 15.154 | 12.6   | 12.230 |
| 22 | 19.7   | 16.058 | 20.2   | 15.508 | 20.2   | 15.508 | 13.6   | 12.584 |

注1 総合費用率欄の<>は標準報酬月額ベースである。

注2 厚生年金の総合費用率は決算ベースであり、厚生年金基金による代行分を含まない。

注3 保険料率は、平成14年度以前は標準報酬月額ベース、平成15年度以降は総報酬ベースの数値であり、本人負担分の2倍を掲げた。また、年度の途中で保険料率が引き上げられた場合には、引上げ後の保険料率を掲げた。

注4 厚生年金の被保険者のうち、坑内員及び船員の保険料率、日本鉄道、日本電信電話及び日本たばこ産業の各旧共済組合の適用法人及び指定法人であった適用事業所に使用される被保険者に係る保険料率、農林漁業団体等の適用事業所に使用される被保険者に係る保険料率については、図表2-1-5に掲げる率である。

○図表 2-4-8 厚生年金相当部分に係る総合費用率の推移

| 年度 | 国共済        | 地共済        | 私学共済       | 厚生年金 |          |
|----|------------|------------|------------|------|----------|
|    | 実績<br>(推計) | 実績<br>(推計) | 実績<br>(推計) | 実績   | 実績<br>推計 |
| 平成 | %          | %          | %          | %    | %        |
| 15 | 16.2       | 13.3       | 10.5       | 17.3 | 18.1     |
| 16 | 15.9       | 14.2       | 10.7       | 17.8 | 18.6     |
| 17 | 15.5       | 14.9       | 11.0       | 17.8 | 18.7     |
| 18 | 16.5       | 15.3       | 11.2       | 17.9 | 18.6     |
| 19 | 17.5       | 16.0       | 11.5       | 17.9 | 18.6     |
| 20 | 18.1       | 17.5       | 11.8       | 18.2 | 19.0     |
| 21 | 18.1       | 17.9       | 11.4       | 19.2 | 20.2     |
| 22 | 19.2       | 19.2       | 12.3       | 19.7 | 20.6     |

(参考) 標準報酬月額ベース

|    |        |        |        |        |        |
|----|--------|--------|--------|--------|--------|
| 10 | <18.5> | <13.5> | <12.3> | <16.3> |        |
| 11 | <19.0> | <14.2> | <12.8> | <17.0> |        |
| 12 | <19.2> | <15.0> | <13.4> | <17.9> | <18.5> |
| 13 | <19.8> | <15.5> | <13.7> | <18.8> | <19.6> |
| 14 | <20.5> | <16.3> | <13.4> | <19.8> | <20.7> |
| 15 | <21.7> | <17.7> | <14.2> | <20.7> | <21.7> |
| 16 | <21.4> | <18.9> | <14.4> | <21.3> | <22.3> |
| 17 | <20.8> | <19.8> | <14.7> | <21.4> | <22.4> |
| 18 | <22.0> | <20.4> | <14.9> | <21.4> | <22.3> |
| 19 | <23.4> | <21.3> | <15.2> | <21.4> | <22.2> |
| 20 | <24.2> | <23.4> | <15.6> | <21.7> | <22.7> |
| 21 | <23.9> | <23.4> | <15.0> | <22.5> | <23.7> |
| 22 | <25.1> | <24.9> | <16.1> | <23.2> | <24.3> |

注1 厚生年金の実績推計については、用語解説「厚生年金の実績推計」の項を参照のこと。

注2 <>は標準報酬月額ベースの値である。

注3 ここでは、①職域部分を除いた給付費として、旧法(昭和60年改正前)共済年金については一定割合を乗じることによって算出した額を、新法共済年金については年度末の決定年金額を用い、②国庫負担、追加費用は給付費按分で推計した額を用いて算出している。

○図表 2-4-10 基礎年金費用率の推移

| 年度 | 厚生年金 | 国共済 | 地共済 | 私学共済 |
|----|------|-----|-----|------|
| 平成 | %    | %   | %   | %    |
| 15 | 4.7  | 3.7 | 3.1 | 3.2  |
| 16 | 4.9  | 3.9 | 3.3 | 3.5  |
| 17 | 4.9  | 3.9 | 3.3 | 3.6  |
| 18 | 5.1  | 3.8 | 3.3 | 3.6  |
| 19 | 5.2  | 4.0 | 3.5 | 3.7  |
| 20 | 5.4  | 4.1 | 3.7 | 3.9  |
| 21 | 5.1  | 3.6 | 3.2 | 3.4  |
| 22 | 5.4  | 4.1 | 3.6 | 3.8  |

  

|                |       |       |       |       |
|----------------|-------|-------|-------|-------|
| (参考) 標準報酬月額ベース |       |       |       |       |
| 7              | <3.8> | <3.5> | <2.9> | <3.3> |
| 8              | <4.0> | <3.6> | <3.0> | <3.4> |
| 9              | <4.0> | <3.7> | <3.1> | <3.4> |
| 10             | <4.4> | <3.9> | <3.2> | <3.6> |
| 11             | <4.7> | <4.1> | <3.4> | <3.8> |
| 12             | <4.9> | <4.3> | <3.7> | <4.1> |
| 13             | <5.0> | <4.4> | <3.7> | <4.2> |
| 14             | <5.3> | <4.6> | <3.8> | <4.2> |
| 15             | <5.6> | <4.9> | <4.1> | <4.4> |
| 16             | <5.8> | <5.3> | <4.4> | <4.8> |
| 17             | <5.9> | <5.2> | <4.4> | <4.8> |
| 18             | <6.1> | <5.1> | <4.4> | <4.7> |
| 19             | <6.2> | <5.4> | <4.6> | <4.9> |
| 20             | <6.5> | <5.5> | <4.9> | <5.2> |
| 21             | <5.9> | <4.7> | <4.1> | <4.5> |
| 22             | <6.4> | <5.3> | <4.6> | <4.9> |

注 &lt; &gt;は標準報酬月額ベースである。

○図表 2-4-11 保険料比率の推移

| 年度 | 厚生年金  | 国共済  | 地共済   | 私学共済  | 国民年金<br>(国民年金勘定) |
|----|-------|------|-------|-------|------------------|
| 平成 | %     | %    | %     | %     | %                |
| 7  | 111.9 | 96.3 | 123.5 | 121.4 | 117.5            |
| 8  | 107.1 | 96.0 | 126.3 | 118.4 | 144.5            |
| 9  | 106.8 | 98.9 | 126.5 | 115.6 | 118.8            |
| 10 | 99.1  | 97.0 | 117.1 | 109.5 | 113.0            |
| 11 | 95.5  | 92.7 | 110.7 | 104.5 | 114.3            |
| 12 | 90.5  | 89.9 | 105.0 | 99.0  | 109.1            |
| 13 | 86.2  | 87.2 | 101.3 | 95.8  | 100.4            |
| 14 | 82.8  | 84.7 | 96.4  | 95.8  | 94.0             |
| 15 | 76.2  | 82.9 | 90.6  | 93.2  | 95.0             |
| 16 | 74.3  | 84.3 | 85.3  | 90.9  | 92.0             |
| 17 | 75.6  | 87.0 | 83.3  | 91.7  | 85.7             |
| 18 | 77.3  | 83.5 | 82.5  | 92.7  | 79.1             |
| 19 | 79.3  | 79.1 | 80.5  | 93.0  | 78.1             |
| 20 | 79.8  | 75.0 | 75.7  | 93.1  | 74.1             |
| 21 | 77.6  | 75.7 | 74.7  | 96.9  | 93.8             |
| 22 | 77.2  | 75.8 | 75.1  | 92.3  | 125.8            |

注 厚生年金は決算ベースであり、厚生年金基金による代行分を含まない。